

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（精神障害分野））
被災地のアルコール関連問題・嗜癖行動に関する研究
（研究代表者 松下 幸生）

平成 24~26 年度総合分担研究報告書
アルコール関連問題・嗜癖行動の実態調査
研究分担者 松下 幸生 国立病院機構久里浜医療センター 副院長

研究要旨

東日本大震災の被災地の内、岩手県、宮城県において、地震と津波の被害が大きかった沿岸部と内陸部の住民を対象として 2012 年に住民調査を実施し、2013 年にはコントロールとするために全国調査を実施した。さらに 2014 年には岩手・宮城県調査の再調査を実施して、震災後の生活が飲酒や嗜癖関連行動に及ぼす影響について検討した。

飲酒については、男女とも沿岸部では岩手・宮城の内陸部や全国調査の結果と比べて飲酒しない者の割合が高かった。しかし、1 日に純アルコールで 60g 以上を飲酒する多量飲酒者の割合についてみると、沿岸部では男女とも全国調査の割合とほぼ等しく、飲酒しない者と多量に飲酒する者の二極化が生じている可能性が示唆された。

アルコール関連問題のスクリーニングテストである AUDIT のカットオフ値を超える者の割合も全国調査結果とほぼ同等であり、何らかのアルコールに関連した問題のある者は決して少なくないことが示唆されたが、他地域より多く存在するというわけではなかった。

DSM-IV によるアルコール依存症や乱用の基準に該当する者の割合は岩手県・宮城県内陸部と沿岸部はほぼ等しく、全国調査結果より低いという結果であった。

一方、沿岸部で明らかに高い割合を示したのは、喫煙率、ニコチン依存、睡眠薬の使用、ベンゾジアゼピン依存であり、ニコチン依存は男女とも沿岸部で高い割合であり、睡眠薬やベンゾジアゼピン依存は特に沿岸部女性で他地域の女性より高率であった。

震災関連の事項との相関をみると、男性では震災で失業することと多量飲酒および AUDIT の高得点が相関しており、男性の場合は震災に加えて失業することがアルコール関連問題を増加させる可能性を示唆している。一方、女性では仮設住宅での生活とニコチン依存、睡眠薬の使用頻度、ベンゾジアゼピン依存が相関しており、生活環境の変化がこれらの嗜癖関連行動に影響を及ぼすと考えられた。

アルコール依存症、乱用を合わせて使用障害として背景情報や震災関連項目と相関をみたところ、アルコール使用障害には単身生活者が有意に多いが、震災による失業、仮設住宅での居住、家族・親戚の死亡といった震災関連の項目との相関は認められなかった。

アルコール使用障害では飲酒頻度、飲酒量とも非該当者より有意に多く、面接調査票を用いて面接によって基準の該当を調査する方法の妥当性が示唆された。

再調査の結果と初回調査の結果を比較してアルコール使用障害の経過について検討した。まず、初回調査時は診断基準に該当したが、再調査時には該当しなかった者を回復、初回・再調査の両方とも該当した者を未回復、初回調査では該当しなかったが、再調査時に該当した者を発生と定義してそれぞれの割合を沿岸部、内陸部で比較したところ、沿岸部では回復者の割合がやや低い傾向が認められたが、発生率はほぼ同等であった。

以上を総合すると、沿岸部では飲酒行動の二極化が生じている可能性が示唆されるが、他地域と比較して明らかに多量飲酒が増加しているとは言えない。アルコール依存症およびアルコール乱用の有病率も沿岸部では増加していない。使用障害の経過については、沿岸部で回復率が低い可能性が示唆されるが、発生率は内陸部と同等であった。しかし、調査対象者数が限られており、使用障害の基準に該当した者の数が少ないため、他の要因との相関などそれ以上の検討は困難であった。被災地沿岸部で有意に多かったのは喫煙、睡眠薬の使用であり、災害発生時にはこれらの問題にも配慮が必要と考えられた。

研究協力者

木村 充：国立病院機構久里浜医療センター精神科診療部長

真栄里 仁：国立病院機構久里浜医療センター教育情報部長

佐久間寛之：国立病院機構久里浜医療センター精神科医長

吉村 淳：国立病院機構久里浜医療センター精神科医長

瀧村 剛：国立病院機構久里浜医療センター精神科医師

藤田さかえ：国立病院機構久里浜医療センター医療社会事業専門職

A. 研究目的

災害発生後に被災地で飲酒量が増加してアルコール関連問題が発生することは国外の過去の多くの災害やその調査が指摘している。

本研究は飲酒行動、嗜癖行動やアルコール関連問題に震災の及ぼす影響を検討して実態を把握（横断的および縦断的研究）し、効果的予防方法や対策に関して検討することを目的とする。

海外ではアルコール関連問題は PTSD やうつ病などと並んで災害後のメンタルヘルスを検討する上で重要な課題であり、研究の必要性は極めて高い。一方、わが国では阪神淡路大震災後にアルコール関連問題による孤独死の多いことが報告されているものの、災害がアルコール関連問題に及ぼす影響に関して検討した調査は皆無に等しい。また、ギャンブルなどの嗜癖行動と災害との関連に関する調査は国内外ともにほとんど行われていない。

さらに、本研究は災害がどのように被災者の飲酒行動や嗜癖関連行動を変化させるか、災害がアルコール関連問題の発生にどのように関わるかといった点を明らかにし、アルコール関連問題に脆弱な者の特定やその対策について検討するために必要な情報を提供することによって今後の災害の際にアルコール関連問

題や病的嗜癖の予防策や対策を講じる上で重要なエビデンスを提供する。

以上の点を踏まえて本研究の特徴は以下の点である。

1) 被災地におけるアルコール関連問題の状況を一般人口に対する無作為抽出標本を使った調査は過去にほとんど行われていない。

2) アルコール関連問題のみならずニコチン依存、ギャンブル、インターネット、睡眠薬・ベンゾジアゼピン系薬物の使用といった嗜癖に関連した行動について災害との関連を本調査が初めて明らかにする。

3) 過去の調査ではアルコール依存についてスクリーニングテストを用いて推計するものがほとんどだが、本調査では面接によって DSM-IV 診断基準 1) を適応してアルコール依存、乱用の被災地における実態を初めて明らかにする。

4) 過去の全国調査で使用されたアルコール関連問題、ギャンブル依存、インターネット依存、ニコチン依存のスクリーニングテストと同じテストを使用することによって全国調査との比較を可能にする。

本研究は3年計画で実施した。初年度である平成24年度には岩手・宮城県における住民調査を実施した。両県を沿岸部と内陸部に分けてそれぞれの地域から無作為に対象者を選択して調査への協力を依頼して、沿岸部、内陸部の結果を比較することで、震災の影響を検討した。次年度の平成25年度は岩手・宮城県調査の対照コントロールとして全国から対象者を選択してほぼ同じ内容の調査を実施した。最終年度である平成26年度には初年度で調査に協力していただいた岩手県・宮城県の回答者に再調査を依頼して追跡調査を実施し、2年間の経過を検討した。

調査内容は飲酒、喫煙、睡眠薬・ベンゾジアゼピン系薬物の使用、ギャンブル、インターネットの使用状況について自記式調査票を用いて調査を行い、さらに面接によって飲酒、喫

煙の頻度および DSM-IV のアルコール依存症・乱用の診断基準に該当するか否かについて調査を行った。岩手県、宮城県での調査では震災による影響（失業、住宅の損失、調査時点の住居、家族や親戚の死亡の有無）についても聞き取りを行った。これらの調査によって震災後の生活の変化が飲酒、喫煙、薬物使用、ギャンブルといった嗜癖関連行動に与える影響について検討することが可能となった。

本総合報告書では、平成 24 年度・25 年度に実施した岩手県・宮城県の調査結果と全国調査結果を比較して示す。また、平成 26 年度に実施した追跡調査結果について報告する。

追跡調査の結果は面接調査と留置き調査（自記式調査票）の結果に分けて報告するが、研究分担者の尾崎教授が留置き調査結果について報告しているため、ここでは面接調査結果を報告する。

B．研究方法

1) 3 年間の概要

本研究の中心課題は震災がアルコール関連問題や嗜癖行動へ及ぼす影響を調査することである。

初年度である平成 24 年度には岩手・宮城県における住民調査を実施した。両県を沿岸部と内陸部に分けてそれぞれの地域から無作為に対象者を選択して調査への協力を依頼して、沿岸部、内陸部の結果を比較することで、震災の影響を検討した。次年度の平成 25 年度は岩手・宮城県調査の対照コントロールとして全国から対象者を選択してほぼ同じ内容の調査を実施した。最終年度である平成 26 年度には初年度で調査に協力していただいた岩手県・宮城県の回答者に再調査を依頼して追跡調査を実施し、2 年間の経過を検討した。

2) 実態調査

調査票

平成 24 年度、25 年度、26 年度の調査で使

用した調査票は基本的には同じものである。初年度調査では岩手県、宮城県の住民の方々を対象に震災に関する項目を聴取している。具体的な内容は震災による仕事の変化、自宅の被害、調査時点の住居、家族や親戚の震災による死亡の有無である。全国調査では被害の有無のみ質問している。岩手県・宮城県の平成 26 年度の再調査では仕事の変化、調査時の住居について聴取している。これらの点を除いて同じ調査票を使用した。

面接調査用の調査票では喫煙の有無、喫煙本数、飲酒経験の有無、飲酒頻度・量、飲酒によるフラッシング反応の有無について質問している。飲酒量については普段飲む酒類およびその量を尋ねているが、量の確認にはコップのサンプルを提示して正確に量を推計できるように配慮している。さらに、DSM-IV によるアルコール依存症（現在および生涯）アルコール乱用（現在および生涯）の基準に関する質問項目が含まれている。この調査票は米国における大規模な一般住民調査(National Epidemiologic Survey on Alcohol and Related Conditions; NESARC)2)で使用されたものを邦訳して使用した。さらに、面接調査では性別、誕生日、学歴、婚姻状況、生育地、同居家族、職業、収入といった基本情報を聴取した。

自記式調査票では以下の項目について記載を依頼した。

a. Alcohol Use Disorders Identification Test (AUDIT)質問票 3)

AUDIT は主に有害な使用の同定を目的としたスクリーニングテストである。各質問項目の回答にある点数を合計したものが得点となる。カットオフ値は国内で使用する場合には 10~14 点にすることを推奨する報告もあるが 4)、本研究では原版で国際的にも採用されることの多い 8 点、12 点、15 点を採用した。

b. CAGE 質問票 5)

過去のすべての期間を対象として聴取する質問票であり、2 項目以上に該当する場合にア

ルコール依存症とされる。

c. ニコチン依存質問票 (Fagerström Test for Nicotine Dependence; FTND) 6)

このテストは自記式で行われるニコチン依存のスクリーニングテストである。生理学的な側面からニコチン依存症の程度を簡易に評価するためのスクリーニングテストとして、国際的に広く用いられる。

d. ニコチン依存質問票 (Tobacco Dependence Screener; TDS) 7)

TDS は ICD-10 や DSM- に準拠して、精神医学的な見地からニコチン依存症をスクリーニングすることを目的として開発されたものであり、10 項目の質問から構成され、5 項目以上に該当する場合にニコチン依存症が疑われる。

e. インターネット依存質問票 (Internet Addiction Test; IAT) 8)

IAT は 20 項目からなるテストで 20-39 点を標準ユーザー、40-69 点を問題ユーザー、70-100 点を重篤問題ユーザーと評価する 8)。日本語版は他の研究班が邦訳したものを使用した。

f. ギャンブル依存質問票 (South Oaks Gambling Screen; SOGS) 9)

病的賭博 (ギャンブル嗜癖) は修正日本語版 SOGS を用いて評価し、5 点以上を病的賭博者とした 9)。他の研究班が邦訳したものを使用した。

g. ベンゾジアゼピン系薬物依存質問票 (BDEPQ)

海外にて作成されてベンゾジアゼピン依存症のスクリーニングに広く使用されているスクリーニングテストである 10)。本研究班で邦訳したものを使用した。海外ではカットオフ値は 23 点とすることが推奨されており、本研究班でも 23 点を採用した。

h. 寝酒の頻度・量

調査に用いた調査票は本報告書に添付資料として示した。

標本抽出

1) 平成 24 年度岩手・宮城県調査

層化 2 段無作為抽出法により、岩手県、宮城県の 90 地点から今回の対象とした 20 歳以上の男女 3600 名を抽出した。

調査は両県で一斉に平成 24 年 11 月 8 日から同年 12 月 17 日までの間に実施した。各地区の調査員が対象者の自宅へ出向いて、面接調査部分は面接により回答を聴取し、面接後に自記式調査票に記入を依頼して調査票は調査員が後日自宅を訪問して回収した。有効回答は面接調査が 1978 名 (54.9%)、自記式質問票は 1904 名 (52.9%) から得られた。回答の得られなかった理由として、面接調査は拒否 (618 名、38.1%)、一時不在 (714 名、44.0%)、転居 (85 名、5.2%) などが大きな割合を占めている。自記式質問票は拒否 (692 名、40.8%)、一時不在 (714 名、42.1%)、転居 (85 名、5.0%) が主な理由である。

2) 平成 25 年度全国調査

層化 2 段無作為抽出法により、岩手県、宮城県、福島県を除く 100 地点から今回の対象とした 20 歳以上の男女 2,000 名を抽出した。

調査は一斉に平成 25 年 11 月 7 日から同年 12 月 3 日までの間に実施した。各地区の調査員が対象者の自宅へ出向いて、面接調査部分は面接により回答を聴取し、面接後に自記式調査票に記入を依頼して調査票は調査員が後日自宅を訪問して回収した。有効回答は面接調査が 1082 名 (54.1%)、自記式質問票は 1059 名 (53.0%) から得られた。回答の得られなかった理由として、転居 86 名 (9.1%)、長期不在 51 名 (5.4%)、一時不在 261 名 (27.6%)、住所不明 28 名 (3.0%)、拒否 468 名 (49.6%)、その他 21 名 (2.2%)、面接または留置のみ協力 29 名 (3.1%) となっている。

3) 平成 26 年度岩手・宮城県再調査

岩手県、宮城県を対象地域として行った 2012 年の調査に回答した者を調査対象者としたが、研究費の節約のため、内陸部の対象者については、2012 年調査の約半数に協力を依頼し、

沿岸部では 2012 年調査の回答者全員に再調査を依頼した。

2012 年には層化 2 段無作為抽出法によって岩手県、宮城県の沿岸部、内陸部の 90 地点から 20 歳以上の男女 3,600 名(沿岸部 1,800 名、内陸部 1,800 名)を無作為抽出した。調査は前述のように面接調査と留置調査の両方を実施した。調査回答者数は、沿岸部 1,006 名、内陸部 972 名であった。沿岸部では転居 32 名(1.8%)、長期不在 18 名(1.0%)、住所不明 16 名(0.3%)のため調査不能であり、これらを除くと実質回答率は 58.0%になる。内陸部では転居 53 名(2.9%)、長期不在 62 名(3.4%)、住所不明 42 名(2.3%)であり、実質回答率は 59.2%となる。

2014 年調査は沿岸部 982 名、内陸部 475 名の 1,457 名に調査を依頼して、沿岸部 577 名(女性 345 名、男性 232 名)、内陸部 353 名(女性 196 名、男性 157 名)の合計 930 名(女性 541 名、男性 389 名)から回答を得た。回答率は沿岸部 58.8%、内陸部 74.3%、全体で 63.8%であったが、回答不能の理由についてみると、沿岸部は 199 名(20.3%)が転居、40 名(4.1%)が長期不在、19 名(1.9%)が住所不明といった理由のため調査不能であったが、これらを除くと 79.7%の回答率となる。内陸部も、転居が 37 名(10.5%)、長期不在 10 名(1.8%)、住所不明 5 名(1.1%)であり、これらの理由を除くと 83.5%の回答率であった。

調査期間は 2014 年 11 月 6 日から 2014 年 12 月 15 日の間である。

調査方法

あらかじめ抽出された対象者に対して、事前に調査依頼のはがきを送付した。各地区の調査員が対象者の自宅へ出向いて、面接調査部分は面接により回答を聴取し、面接後に自記式調査票に記入を依頼して調査票は調査員が後日自宅を訪問して回収した。実際の調査は上記標本抽出を含めて、社団法人新情報センターに委

託した。

解析方法

得られた回答はコンピューターに入力して解析を行った。解析には統計解析パッケージ SAS (version 9.2) を使用した。平均値は t 検定、2012 年と 2014 年の比較では対応のある t 検定を用いた。割合の比較はカイ二乗検定を用いた。期待数の少ない場合はフィッシャーの直接確率を用いて検定を行った。

アルコール乱用の同定

アルコール乱用は DSM-IV で定義されるカテゴリーである。本研究では DSM-IV の診断基準に該当するか否かを判定できるようにした面接調査票を用いている。

以下にその診断基準を示す。

臨床的に著名な障害や苦痛を引き起こす不適応的なアルコール使用様式で、以下の少なくとも一つが 12 か月以内に起こることによって示される。症状は依存の診断基準を満たしたことはない。

- (1) アルコールの反復的な使用の結果、仕事、学校、または家庭の重要な役割義務を果たすことができなくなる。
- (2) 身体的危険のある状況でアルコールを反復使用する。
- (3) 反復的に引き起こされるアルコール関連の法律上の問題。
- (4) 持続的、反復的な社会的または対人関係の問題がアルコールの影響により引き起こされたり、悪化したりしているにもかかわらず、アルコール使用を継続する。

診断基準ではアルコールを含むすべての精神作用物質に共通するが、ここでは作用物質はアルコールに限定して記載した。調査では最近 1 年間および生涯にわたって該当する項目について聴取した。

アルコール依存症の同定

本研究では DSM-IV の診断基準に合わせた面接調査票を用いている。

以下にその診断基準を示す。

臨床的に重大な障害や苦痛を引き起こすアルコール使用の不適應的な様式で以下の3つ（またはそれ以上）が、同じ12か月の期間内のどこかで起こることによって示される。調査では過去1年間および生涯にわたって該当する項目があるか聴取した。

- (1) 耐性、以下のいずれかによって定義されるもの：a. 酩酊または希望の効果を得るために著しく増大した量のアルコールが必要 b. アルコールの同じ量の持続使用により、著しく効果が減弱
- (2) 離脱、以下のいずれかによって定義されるもの：a. アルコールに特徴的な離脱症候群がある b. 離脱症状を軽減したり回避したりするために、アルコールを摂取する
- (3) アルコールをはじめのつもりより大量に、またはより長い期間、しばしば使用する
- (4) アルコールを中止、または制限しようとする持続的な欲求または努力の不成功のあること
- (5) アルコールを得るために必要な活動（例：長距離を運転する）アルコール使用（例：立て続けに飲む）またはその作用からの回復などに費やされる時間の大きいこと
- (6) アルコールの使用のために重要な社会的、職業的または娯楽的活動を放棄、または減少させていること
- (7) 精神的または身体的問題がアルコールによって持続的、または反復的に起こり、悪化しているらしいことを知っているにもかかわらず、アルコール使用を続ける。

（倫理面への配慮）

本研究は独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター倫理審査委員会の承認を得て実施した。調査対象者に対しては、調査の趣旨・内容・方法等を記した依頼状を郵送して、調査の内容を伝え、その後調査員が自宅を訪問して、対象者に調査の趣旨、内容、方法をよく説明して書面による同意を得た上で調査を実施した。

得られた情報は厳密に保管して、本調査の関係者以外が取り扱えないよう配慮し、個人情報の漏洩予防には十分な対策を講じた。データの公表の際には個人名などの個人が特定される情報は削除し、個人情報の保護には十分配慮する。

C. 研究結果

1. 岩手・宮城県調査と全国調査の比較

1) 回答者の背景情報（表1-7）

回答者の性別、年齢別および住居地域別分布は付表の基本集計の通りである。男性は沿岸部436名、内陸部426名、全国493名、女性は沿岸部570名、内陸部545名、全国589名から回答を得た。平均年齢は沿岸部男性が 58.4 ± 13.7 歳、内陸部男性が 54.3 ± 15.3 歳、全国男性は 54.7 ± 16.7 歳、沿岸部女性が 56.6 ± 15.0 歳、内陸部女性が 52.3 ± 15.6 歳、全国女性が 52.0 ± 16.4 歳と男女とも沿岸部で年齢が高い。年齢分布は表1,2に示すが、沿岸部で20歳代、30歳代が少なく、65歳以上が多い。

回答者の教育歴は学校に通った年数を尋ねている。表3-1、3-2に岩手県・宮城県調査と全国調査の教育年数の分布を示す。教育年数は男性は、沿岸部で 11.1 ± 2.2 年、内陸部で 12.9 ± 3.1 年、全国で 13.6 ± 2.8 年と沿岸部、内陸部、全国の順に長い。女性は沿岸部 11.1 ± 2.1 年、内陸部 12.3 ± 2.5 年、全国が 12.9 ± 2.3 年と男性と同じ傾向であった。

婚姻状況を表4に示す。同居または内縁の

割合は男性は全国で 76.1%、内陸で 74.9%、沿岸部 55.3%と沿岸部で低い。一方、死別は全国 1.6%、内陸 3.8%、沿岸部 10.1%と沿岸部で最も高い。別居・離婚は全国 3.5%、内陸 4.0%、沿岸部 13.3%と沿岸部で多い。女性も同様の傾向があり、同居・内縁は沿岸部で最も低く、死別は沿岸部で最も高く、別居・離婚も沿岸部で最も高い。

同居家族数の分布を表 5 に示す。単身世帯の割合は、男性は沿岸部 30.1%、内陸部 9.2%、全国 10.1%と沿岸部で最多であり、女性は沿岸部 27.7%、内陸部 10.6%、全国 8.8%と沿岸部で最も高い。

職業の分布を表 6 に示す。

自営、正社員、非常勤を合わせて職業ありとすると、男性では沿岸部 43.1%、内陸部 64.6%、全国 72.8%と全国が最も高く、女性では、沿岸部 21.1%、内陸部 51.7%、全国 55.7%と男性と同じ傾向であった。

回答者の収入の分布を表 7 に示す。男性では沿岸部では 100~200 万円未満が 31.2%と最多で、内陸部でも 100~200 万円未満が 22.8%、全国では 200~300 万未満が 23.9%と最も多かった。女性では沿岸部では 100 万未満が 43.0%と最も多く、内陸部でも 32.1%と最多で、全国でも 28.5%と最も多かった。

2) 被災関連項目 (表 8-12)

震災による仕事への影響については、内陸部では変化なしが、男性の 87.7%、女性の 93.1%、震災による失業は男性の 2.2%、女性の 1.6%であったのに対して沿岸部では変化なしが男性の 58.6%、女性の 70.5%、震災による失業は男性の 23.4%、女性の 22.3%と内陸部と沿岸部で大きく異なっていた。

家屋の被災状況については、内陸部では男性の 91.1%、女性の 88.8%が全壊、大規模半壊も男性の 5.5%、女性の 7.7%でほとんどの回答者が家屋を失っている。一方、内陸部では一部損壊が男性の 34.5%、女性の 36.9%だが、損壊なしが男性の 57.5%、女性の 55.6%であり、ほ

ほとんどの回答者が影響を受けていない。

住居については内陸部では男性の 95.9%、女性の 96.8%が震災前と同じと回答しているのに対して、沿岸部では男性の 97.5%、女性の 97.0%がプレハブ型仮設住宅と回答している。

家族・親戚の中での被害者の有無については、内陸部では男性の 9.6%、女性の 9.7%が被害者ありと回答しているのに対して、沿岸部では男性の 45.9%、女性の 52.3%が被害者ありと回答している。

3) 飲酒パターン

飲酒については面接調査票にてアルコール飲料を飲んだ経験の有無、飲酒頻度、飲酒量、飲酒開始年齢、少量の飲酒による顔面紅潮の有無、自記式調査票では各スクリーニングテストに加えて寝酒の習慣の有無と頻度を聴取している。

(1) 飲酒経験の有無(表 13)

男女で比較すると沿岸部、内陸部、全国調査とも男性で経験者の割合が高い。沿岸部男性では 86.2%、内陸部男性 92.0%、全国調査男性 94.5%、沿岸部女性 51.1%、内陸部女性 66.9%、全国女性 80.0%が飲酒経験ありと回答しており、男女とも沿岸部でもっとも頻度が低い。この割合の差は沿岸部で平均年齢が高いことで説明されると考えられる。

(2) 飲酒頻度(表 14)

飲酒頻度は面接調査および自記式質問票 (AUDIT) で確認しているが、表には面接調査で聴取した頻度を集計した。調査では平均的な飲酒の頻度を質問している。

表には年代・性別の飲酒頻度を示したが、男女とも年齢によって頻度が異なることが明らかである。男性の場合、20 歳代では最も多い頻度は月に 2~4 日、30 歳代では月 1 日以下だが、40 歳代以上では毎日が最多となり、70 歳代後半まで同じ傾向になっている。一方、女性の場合は男性より飲酒頻度の少ないことが明らかであり、20 歳代および 40 歳代~60 歳代前半では月 1 日以下が最多で、その他の年代では過去

1年間飲酒していない者が最も多い。このように、本調査では飲酒頻度の性差、年齢による違いが明らかとなった。この結果は他の飲酒実態調査とほぼ一致するものである。

過去1年間に飲酒していないと回答したのは沿岸部男性の21.8%、内陸部男性の16.1%、全国男性の10.3%、沿岸部女性の33.3%、内陸部女性の22.2%、全国女性の25.9%と飲酒経験同様に内陸部、全国で飲酒の頻度が男女とも高い。しかし、毎日飲酒すると回答した男性は沿岸部で39.9%に対して内陸部32.7%、全国35.6%と沿岸部で最も高い。一方、女性の場合は毎日、週3-6日も沿岸部の女性の方が内陸部や全国の女性より低い割合であり、沿岸部の女性は他の地域より飲酒頻度がやや低いことが明らかになった(表14)。

(3) 飲酒量(表15)

飲酒量は飲酒機会によって大きく異なることが一般的である。本調査では過去1年間に飲酒経験のあった者に対して普段の1日の飲酒量を質問している。酒類をa. ビール・発泡酒、b. 日本酒、c. 焼酎、d. 酎ハイ類、e. カクテル類、f. ワイン、g. ウイスキー類、h. その他に分類して、酒類ごとにコップの写真を見もらいながら量を推計して飲酒量を調査する方法を採用した。集計には各飲料に含まれる純アルコール量を用いた。なお、アルコール量の単位には純アルコール10グラムを1単位として集計した。

表15には飲酒経験のある者のみの集計を示す。沿岸部、内陸部で比較すると男性では沿岸部でやや多い傾向があるが、統計的に有意ではない。女性の場合も飲酒量に有意な差を認めない。

さらに、面接調査での飲酒量を基に飲酒量の分布を表16、17に示す。性別に沿岸部・内陸部での比較を示したが、男女とも飲まないと回答した者の割合が沿岸部で最多であったが、5単位以上に多量に飲酒する者の割合は地域で大きな差は認められなかった。

5) 多量飲酒者の割合頻度

次に1回に純アルコールで60g以上の飲酒をするものを多量飲酒と定義してその割合を比較した。

表19には飲酒しないと回答した者を除いて、性別、地域別に多量飲酒者頻度を示した。男性では60g以上の飲酒をする者の割合は全国で最も高いが、沿岸部が続きその割合には大きな違いはない。

一方、女性では各地域で大きな違いはないが、沿岸部で最も高い結果であった。

このように沿岸部では飲酒しない者の割合も高いが、多量に飲酒する者の割合は他地域と比較してほぼ同じ割合であり、飲まない者と多量に飲酒する者の二極化が生じている可能性を示唆している。

6) 寝酒の習慣

眠りを助けるために飲酒することを寝酒と定義してその習慣の有無、頻度について質問している。表20には性別・年代別に寝酒の頻度を示す。男性の場合は中年から高齢の世代で寝酒の頻度が高い傾向にある。女性は男性より頻度がかなり少ないが、中年の世代でやや頻度が高い傾向がみられる。

寝酒の頻度は沿岸部の女性でやや高い傾向がみられるものの、内陸部、全国で男女とも有意差は認められなかった。

7) AUDIT、CAGEテスト(表22~27)

表22にはカットオフ値を8点、12点、15点とした場合の割合を性別・年代別に示した。

男性の場合、いずれのカットオフ値においても50歳代でカットオフ値を上回る割合が高い。一方、女性の場合は岩手宮城県では低いカットオフ値では20歳代、30歳代が多いが、高いカットオフ値では40歳代、50歳代が多いが全国調査ではいずれも30歳代から40歳代が多いという結果である。

表23から25に各カットオフ値を超える割合を男女別で地域で比較した結果を示す。男性

の場合はいずれのカットオフ値でも全国調査の結果が最も高く、次いで沿岸部という結果であった。女性では12点をカットオフ値にすると沿岸部で最も高い割合となっているが、8点では全国調査が最も高く、15点では地域による違いを認めなかった。

表26には性別、年代別、地域別にCAGEテストの結果を示す。男性ではAUDITと同様に若い世代で陰性者が多く、40歳代以上の年代で陽性者の割合が高くなる。女性では男性より点数の低い者が多いが、20歳代から40歳代で1点以上の割合が高い。

表27には2点以上の割合を性別で分けて地域で比較した。男性は全国、沿岸部、内陸部の順に高く、女性は沿岸部が最も高かった。

8) DSM-IV 基準による乱用・依存の割合

表28には性別・年代別に乱用・依存の基準を最近12カ月間と1年以上前の過去に分けて該当する者の割合を示した。

a. アルコール乱用

現在の乱用者は男女とも極めて少ない。一方、過去に乱用の基準に該当した者の割合は男性では60歳代前半で最多であり、60歳代後半、40歳代が次ぐ。女性の場合は生涯の乱用は20歳代、50歳代で最多である。男性は高齢者の乱用、女性は若年者の乱用の割合が高いという特徴がある。対象者全体では過去1年間に乱用の基準に該当するものは男性1.2%、女性0.2%、生涯の乱用の基準に該当するものは男性9.2%、女性1.3%であった。

b. アルコール依存

現在の依存の基準に該当する者の割合は男性では50歳代が最多であり、40歳代が次ぐ。女性は男性に比べるとほとんど該当する者がいないが、20歳代では約4%が該当している。対象者全体では男性は、岩手・宮城県調査では沿岸、内陸とも男性の4%、全国では男性の9.5%が該当した。一方、女性の場合は、沿岸部では0.7%と最も低く、内陸部、全国は1.5%と同じ割合であった。

沿岸部と内陸部の比較(表29~32)では依存、乱用ともに該当する者の割合に違いが認められなかった。

9) 喫煙(表33~37)

喫煙に関しては過去に100本以上のたばこを吸ったことがあるものを喫煙経験あり、ない者を非喫煙者と定義した。さらに、調査前1カ月間に喫煙ありと回答したものを喫煙者、過去1カ月間には飲酒していないと回答したものを元喫煙者と定義して、表にその割合を男女・年代別に示した。

1) 喫煙者の割合

岩手・宮城県の男性の38.3%、女性の12.3%が喫煙者なのに対して、全国調査では男性の30.8%、女性の10.4%が喫煙者で岩手・宮城県の方が男女とも喫煙者が多い。年代でみると、男性では30歳代から50歳代で喫煙者の割合が高いが、女性では20,30歳代の若い世代で喫煙者の割合が高い。

表35に喫煙者割合の地域別比較を示すが、男女ともその割合が沿岸部で有意に高いことが示された。

2) ニコチン依存のスクリーニングテスト

この調査では2種類のスクリーニングテストを実施している。表34にはFTND、TDSそれぞれのカットオフ基準値での割合を性別・年代別に示す。男女ともFTNDの方が陽性率が低い。

表36、37には地域別の陽性率を示す。FTND、TDSの両方とも、沿岸部、内陸部、全国で比較すると男女とも沿岸部が高い。FTNDは男女とも統計的に有意であるが、TDSは男性では沿岸部で陽性率が高い傾向にあるが統計的に有意ではない。いずれにしても、ニコチン依存に関しては男女とも沿岸部で内陸部より有意に多いということが言える。

10) インターネット依存質問票(表38,39)

表38にはIAT40点以上の者の割合を性別・年代別に示す。表から明らかなようにインターネット依存が疑われるIAT40点以上のもの

は男女とも 20 歳代で最多であり、30 歳代が次ぎ、それ以上の年代ではほとんどゼロに近い。

地域による比較では、IAT40 点以上の者は全国、内陸部で有意高い割合で、沿岸部では男女とも有意に低い割合になっている。震災によるインターネット環境の変化や沿岸部では全国、内陸部より年齢が高いことが影響しているものと考えられる。

1 1) ギャンブル依存質問票(表 40、41)

SOGS5 点以上の者の割合を性別・世代別に表に示す。性別では男性に多く、年代では男性は岩手・宮城県では 20 歳代から 40 歳代、全国調査では 40 歳代から 50 歳代および 60 歳代後半で高く、地域によって割合の高い年代が異なる。一方、女性は岩手・宮城調査、全国調査とも 20 歳代から 30 歳代に多いという特徴がみられた。

表 41 には地域による違いを見たが、沿岸部、内陸部、全国で男女とも有意差を認めなかった。

1 2) 睡眠薬の使用とベンゾジアゼピン系薬物依存(表 42 ~ 45)

本調査では自記式質問票に睡眠に関する質問項目が含まれており、「眠りを助けるために睡眠剤や安定剤を使うことがありますか」という設問がある。さらに使うことがある場合にはその頻度を回答してもらう。

表にはその頻度を性別・年代別に示す。1 週間に 5 日以上とほぼ毎日使用している者の割合は岩手・宮城、全国調査とも性別では女性に多く、年代では男女とも高齢者に多いことがわかる。

その頻度を沿岸部、内陸部、全国調査と比較すると、男性では沿岸部で毎日使用する者の割合が高いが、有意ではない。一方、女性の場合は沿岸部で有意に頻度が高い。

次に、睡眠薬(ベンゾジアゼピン系薬物)の依存のスクリーニングテストである BDEPQ の結果を表 44 に示す。文献的には 23 点をカットオフとしているので、23 点以上の者の割合を性

別・年代別に示した。睡眠薬の使用頻度と同様にカットオフ値以上の割合は女性に多く、岩手・宮城調査では男女とも高齢者で割合が高い。

BDEPQ23 点以上の割合を沿岸部、内陸部、全国調査と比較すると、男性では沿岸部、内陸部では同じ割合だが、全国より高い。一方、女性では内陸部と全国調査の割合はほぼ同じであるのに対して沿岸部では 2 倍以上の割合で有意に高い割合であった。

1 3) AUDIT と他のスクリーニングテスト結果との相関について(表 46 ~ 52)

表には AUDIT8 点以上と他のスクリーニングテストとのクロス集計を示す。岩手宮城県調査では AUDIT はニコチン依存スクリーニングテストとは FTND、TDS とともに男女共通して強い相関を示しており、アルコール問題と喫煙は相関が強いことを示すが、全国調査では男性のみ有意であった。

一方、インターネットとは有意な相関を認めなかった。ギャンブル依存は男女とも AUDIT8 点以上の者で SOGS5 点以上のものが多い傾向にあるが、統計的には有意ではない。女性の場合はカットオフ値以上の者の割合が低く、統計パワーが低いことも原因となっていると考えられる。

睡眠薬の使用頻度に関しては、岩手・宮城調査では女性では AUDIT8 点以上のものでは睡眠薬を毎日のように使用する者はおらず、睡眠薬の使用頻度とアルコール関連問題は逆相関になっていた。BDEPQ と AUDIT は相関を認めなかった。

寝酒とのクロス集計では岩手・宮城、全国調査とも強い相関が認められ、AUDIT8 点以上の者では寝酒の頻度が有意に高く、アルコールを睡眠薬代わりに使用している可能性を示唆するものともいえる。

1 4) 被災状況と飲酒行動(表 53 ~ 63)

次に被災状況と飲酒関連行動との関連をみる。

普段の飲酒量(6 単位未満、6 単位以上)

と被災状況をみると、家屋の損壊、住居、家族の犠牲者の有無との関連はないが、震災による仕事の変化との関連をみると、男性では震災で失業した者は仕事に変化のなかったものと比べて多量に飲酒するものの割合が有意に高いことがわかった。しかし、女性の場合にはこのような関連は認められない。

15) 被災状況と多量飲酒頻度

多量飲酒の頻度との関連では家屋の損壊のあったものは男女とも多量飲酒の少ないことが示されている。また、震災によって失業した男性は多量飲酒の頻度が高い。

16) 被災状況と AUDIT、CAGE

家屋損壊の有無、住居、家族の犠牲者の有無と AUDIT、CAGE 得点とは男女とも関連が認められなかった。しかし、男性の場合のみ震災による失業者は AUDIT で 8 点以上のものの割合が有意に高いことが示された。

一方、CAGE ではいずれの被災状況との関連も認められなかった。

17) 被災状況と DSM-IV アルコール依存・乱用

DSM-IV によるアルコール依存および乱用の該当の有無と被災状況との関連をみると、家屋損壊の有無、住居、家族の犠牲者の有無との関連は認められなかった。震災によって失業した男性ではアルコール依存が多い傾向がみられるが、該当する人数が少ないこともあって統計的に有意ではない。

18) 被災状況と睡眠薬の使用

睡眠薬の使用頻度との関連では、男性はいずれも関連を認めないが、女性の場合は仮設住宅に居住するものでは使用頻度が有意に高い。

19) 被災状況とニコチン依存

男性では被災状況との関連は認められなかったが、女性の場合は FTND、TDS とともにカットオフ値を上回るものの頻度が仮設住宅居住者で高く、TDS では家屋損壊のある女性は家屋損壊のない女性より 5 点以上の者の割合が高い。女性の場合は家屋を失い、仮設住宅に居住する

こととニコチン依存は関連が認められる。

20) 被災状況とインターネット依存

IAT40 点以上と被災状況のクロス集計ではむしろ被災のないもので 40 点以上の割合が高いという結果であり、被災状況との関連は認められない。しかし、被災で失業した男性では IAT40 点以上の割合が高く、関連する可能性がある。

21) 被災状況とギャンブル依存

被災状況と SOGS 得点との関連では、家屋の損壊、住居、家族の犠牲者の有無、震災による仕事の変化のいずれも関連は認められず、被災とギャンブル依存の関連を示唆する結果は得られなかった。

22) 被災状況とベンゾジアゼピン系薬物依存

被災状況と BDEPQ 得点との関連を見ると、家屋の損壊との関連は認められない。しかし、仮設住宅に居住する女性は 23 点以上の者の割合が有意に高い。震災による失業や家族の被害者の有無との関連は認められない。仮設住宅の居住がベンゾジアゼピン依存に関連する可能性が示唆された。

2. 岩手・宮城県再調査結果

岩手県、宮城県の再調査については、研究分担者の尾崎教授と分担して解析して報告するが、ここでは、面接調査結果を主に集計、解析して報告する。

1. 初回(2012年調査)のみの対象者と初回・再調査とも対象となった者の比較(内陸部)

内陸部の対象者は初回の対象者から無作為に 475 名を抽出して調査対象とした。そこで、まず、初回のみを対象者と初回・再調査ともに対象となった者を比較する。

表 64 には年齢、婚姻状況、教育歴、同居者数、年収、仕事の有無について比較して示す。

女性では再調査対象者は初回のみを対象者に比べて婚姻状況で同居の割合が少なく、死別が多い。また、女性は再調査対象者は初回のみを対象者より同居者数が少ないといった違い

はあるが、年齢、教育歴、年収などの項目については有意差を認めなかった。

表 65 に飲酒関連の項目および睡眠薬の使用頻度について比較した結果を示す。男性は 1 回あたりの飲酒量が再調査対象者は初回のみを対象者に比べてやや多い傾向がみられた。一方、女性は逆に飲酒量が再調査対象者は少ない傾向が認められたが、いずれも統計的に有意ではなかった。

睡眠薬の使用頻度について比較すると、再調査対象者は男性の場合、使用頻度が有意に少なかったが、女性では有意差を認めなかった。

以上より、内陸部の再調査対象者は初回のみを対象者と比較して背景情報、飲酒関連行動について基本的には明らかな差を認めず、追跡調査結果に大きな影響は及ぼしていないと考えられる。

2. 初回のみ回答者と初回・再調査回答者の比較

次に、再調査対象者の内、初回・再調査ともに回答している者と初回のみしか回答していない者がいるので、差異の有無について検討した。

表 66 に背景情報の比較を示す。男女とも、初回・再調査双方に回答した者は初回のみ回答者と比較して有意に年齢が若い。さらに、女性の場合は初回・再調査ともに回答した者は初回のみ回答者より婚姻状況で同居が少なく、死別が多い、教育年数が短く、同居者数が少なく、無職が多いといった特徴が認められる。これらはいずれも年齢が高いことで説明が可能と考えられる。

飲酒に関連した項目について比較した結果を表 67 に示す。初回・再調査とも回答した者は初回のみ回答者と比較して女性では飲酒頻度が低い、飲酒量が少ないといった違いが認められるが、男性ではいずれの項目にも有意差は認められなかった。飲酒行動の違いについても女性の場合は年齢が影響している可能性が考えられる。

表 68 には DSM-IV の診断基準によるアルコール依存、乱用および依存と乱用を合わせた使用障害の項目に該当する者の割合を比較して示す。表 68 に示すように初回調査のみの回答者も初回・再調査回答者においても診断基準を満たす者の割合に有意差は認められなかった。

以上の点は、初回調査・再調査結果を解釈する上で注意すべき点である。

3. 沿岸部と内陸部における飲酒行動の比較（初回・再調査回答者のみ）

次に初回調査および再調査の結果を沿岸部と内陸部の間で比較する。

表 69 には飲酒行動に関して比較した結果を示す。初回調査、再調査とも、また男女とも飲酒頻度、量ともに沿岸部で有意に少ない。しかし、男性で毎日飲酒すると回答した者の割合は沿岸部、内陸部とも同じ割合である一方、過去 1 年飲酒していないと回答した男性の割合が沿岸部で高い。初回調査時は女性も同じ傾向にあり、毎日飲酒すると回答した女性の割合はほぼ等しい。一方、再調査では毎日飲酒すると回答した女性の割合は沿岸部で低く、飲酒していないと回答した女性の割合は沿岸部で高い。

1 回あたりの飲酒量についても飲酒頻度と同様の傾向があり、飲まないと回答した者の割合が沿岸部で男女とも高く、全体としては、沿岸部で飲酒量が少ない傾向にあるが、1 回に 60g 以上飲酒する多量飲酒者の割合は初回、再調査とも、男女とも沿岸部と内陸部でほぼ同じ割合である。

寝酒の頻度を比較すると、初回、再調査とも男女とも沿岸部で使用頻度が高い傾向にあるが、統計的には有意ではない。

一方、睡眠薬の使用頻度についてみると、再調査で男性では沿岸部で睡眠薬の使用頻度が有意に高い。

これらをまとめると、沿岸部では飲酒頻度・量については、飲酒しない者の割合が沿岸部で高いが、飲酒頻度の多いもの、飲酒量の多い者の割合は沿岸部、内陸部で大きな違いはないと

いう結果である。また、睡眠薬に関しては、沿岸部で男女とも使用頻度が多い傾向が認められた。

4．飲酒頻度・量の変化の比較

初回調査と再調査で飲酒頻度と飲酒量の変化について検討した結果を表 70 に示す。

飲酒頻度の変化は男女とも有意差はない。男女とも増加しているのは内陸部で多く、沿岸部では変化なしが最多であった。これは非飲酒者を除いて集計した場合でも同じであり、増加した者は内陸部で多く、沿岸部では減少している者が多い。

飲酒量についてみると、沿岸部で飲酒なしと回答した者が多いが、非飲酒者を除くと男女とも減少も増加も沿岸部で多いという結果であった。

5．アルコール依存症・乱用の有病率比較

表 71 に面接調査によって行った DSM-IV のアルコール依存症および乱用の診断基準に該当する割合を沿岸部と内陸部で比較した結果を示す。男性は初回、再調査ともアルコール依存症および乱用の基準に該当する者の割合は沿岸部と内陸部で有意差はない。女性も同様であった。

6．アルコール使用障害の背景情報

次にアルコール依存症または乱用の基準に該当する者と該当しない者で背景情報を比較した結果を表 72 に示すが、女性は使用障害に該当する者の数が少ないため、男性のみで比較した。

年齢についてみると、初回調査では使用障害に該当する者は非該当者より若い傾向にあったが、有意ではなかった。再調査では年齢の差はさらに広がって統計的に有意差をもって該当者は非該当者より若かった。

婚姻状況や教育歴に違いはないが、単身、同居者ありに分けて比較すると初回調査、再調査とも使用障害該当者は有意に単身者が多い。

年収について比較すると、有意ではないが、使用障害該当者は非該当者より 400 万以上の収

入の者が多い傾向にある。仕事の有無については、両群で違いがないので、年収の差は年齢によるものか、またはアルコール飲料に支出する経済的余裕の違いを反映していると考えられる。

7．アルコール使用障害と震災関連事項

面接調査では震災に関連した事項として、震災による仕事の喪失の有無、調査時の住居および家族・親戚の死亡の有無について聴取している。アルコール使用障害の該当の有無でこれらの項目を比較した結果を表 73 に示す。震災による失業、仮設住宅の居住、家族・親戚の死亡の各項目について、使用障害該当者と非該当者に有意な差は認められなかった。

8．アルコール使用障害と飲酒頻度・量

次に使用障害の該当・非該当間で飲酒頻度と飲酒量について比較した結果を表 74 に示す。使用障害該当者は非該当者と比較して、男女とも飲酒頻度、飲酒量が多い。特に 60g 以上の多量飲酒者の割合は男性の使用障害該当者では過半数であり、女性でも半数が 1 回あたり 100g 以上の飲酒をしている。

9．アルコール使用障害の経過と発生率の比較

初回調査で使用障害に該当した者が再調査時に該当しているか、していないか、また初回調査時に該当しなかった者の中で再調査時に該当しているものがどの程度の割合存在するかについて集計して沿岸部、内陸部で比較した結果を表 75 に示す。

初回調査で該当して再調査では該当しなかった場合を回復、初回調査、再調査のいずれも該当した場合を未回復、初回調査では該当しなかったが、再調査では該当した場合を発生、上記以外を非該当として分類した。

表 75 に示すように、回復、未回復、発生の割合は沿岸部、内陸部で大きな相違を認めなかった。しかし、使用障害に該当する者は内陸部で 12 名、沿岸部で 18 名と人数が少ないことに

も留意する必要がある。

10．使用障害の経過を背景情報の相関

表 76 に使用障害の経過と背景情報の相関について集計した結果を示す。初回調査で該当して、再調査では該当しなかった者は他の経過の者より年齢が高く、初回調査で該当せず再調査で該当した者が最も年齢が若い。

婚姻状況については、初回調査、再調査とも使用障害に該当した者では同居が少ない傾向があるが、有意ではない。教育歴は初回調査で該当せず、再調査で該当した者で教育年数が長い傾向があるが、有意ではない。同居者の有無についてみると、初回・再調査とも該当した者で有意に単身者が多いことがわかる。収入については、初回調査では該当せず、再調査で該当した者は 200 万から 800 万までの割合が非該当者より多いが、仕事があると回答した者の割合が発生群で多いことが関係していると考えられる。

11．使用障害の経過と飲酒行動

表 77 に使用障害の経過と飲酒関連項目の相関を示す。回復した者では約 18% がほぼ飲酒していないのに対して、未回復、発生群では週に 3 日以上頻度で飲酒しているものがほとんどである。

飲酒量についても回復した者では 60% 以上が 40g 未満の飲酒量であったのに対して、未回復群では 90% 近くが 40g 以上、発生群でも半数が 40g 以上の飲酒量であった。

飲酒頻度と量の変化については、回復群は頻度の減少は多くないが、飲酒量が減少した者が多い。一方、未回復群では 90% 近くが飲酒頻度が同じか増加していた。発生群については飲酒頻度は変化ないものの、飲酒量の増加しているものが半数であった。

12．使用障害の経過と震災関連項目

表 78 に使用障害の経過と震災関連項目との相関を示す。

震災による失業、仮設住宅の居住、家族や親戚の死亡の有無との相関を検討したが、いずれの項目も使用障害の経過と有意に相関する項目は認められなかった。

D．考察

東日本大震災の被災地の内、岩手県、宮城県において、地震と津波の被害が大きかった沿岸部と内陸部の住民を対象として 2012 年に住民調査を実施し、2013 年にはコントロールとするために全国調査を実施した。さらに 2014 年には岩手・宮城県調査の再調査を実施して、震災後の生活が飲酒や嗜癮関連行動に及ぼす影響について検討した。

本報告書では、まず 2012 年の岩手・宮城県調査と 2013 年の全国調査の比較を行い、特に沿岸部の特徴を明らかにすることを試みた。

飲酒については、男女とも沿岸部では岩手・宮城の内陸部や全国調査の結果と比べて飲酒しない者の割合が高い。しかし、1 日に純アルコールで 60g 以上を飲酒する多量飲酒者の割合は沿岸部は男女とも全国調査の割合とほぼ等しく、飲酒しない者と多量に飲酒する者の二極化が生じている可能性が示唆された。

アルコール関連問題のスクリーニングテストである AUDIT のカットオフ値を超える者の割合も全国調査結果とほぼ同等であり、何らかのアルコールに関連した問題のある者は決して少なくないことが示唆されたが、他地域より多く存在するというわけではなかった。

DSM-IV によるアルコール依存症や乱用の基準に該当する者の割合は岩手県・宮城県内陸部と沿岸部はほぼ等しく、全国調査結果よりは低いという結果であった。

一方、沿岸部で明らかに高い割合を示したのは、喫煙率、ニコチン依存、睡眠薬の使用、ベンゾジアゼピン依存であり、ニコチン依存は男女とも沿岸部で高い割合であり、睡眠薬やベンゾジアゼピン依存は特に沿岸部女性で他地域の女性より高率であった。

震災関連の事項との相関をみると、男性では震災で失業することと多量飲酒および AUDIT の高得点が相関しており、男性の場合は震災に加えて失業することがアルコール関連問題を増加させる可能性を示唆している。一方、女性では仮設住宅での生活とニコチン依存、睡眠薬の使用頻度、ベンゾジアゼピン依存が相関しており、生活環境の変化がこれらの嗜癖関連行動に影響を及ぼすと考えられた。

以上は、横断調査結果だが、2014 年には追跡調査によって変化を調査することができた。

飲酒頻度や飲酒量の変化については、沿岸部と内陸部で有意差を認めなかった。これらの結果から震災後の生活が飲酒行動に強いインパクトを与えているとは言えないという結果である。アルコール依存症、乱用の基準に該当する者の割合についても沿岸部、内陸部で有意差を認めなかった。それぞれの基準に該当する者の数が少ないため、アルコール依存症と乱用を合わせてアルコール使用障害として背景情報や飲酒行動について比較したところ、背景情報では単身者の割合が使用障害では有意に高く、疾病との相関が認められた。震災関連の項目との相関は認められず、被災が使用障害に影響をもたらしたとは言えない結果であった。初回調査と再調査結果での使用障害の経過について検討したところ、内陸部では 2012 年調査で使用障害基準に該当した 9 名の内、6 名が再調査では該当しなかったのに対して、沿岸部では 11 名の内、該当しなかったのは 5 名であった。一方、2012 年調査で該当しなかった者の内、2014 年調査で該当した者を新たな発生とすると、内陸部は 0.9%、沿岸部は 1.2%とほぼ同じ割合であった。従って、沿岸部では回復率が低い可能性があるものの、使用障害の発生は多くない。回復している者は未回復の者より高齢であり、単身が少ないが、震災に関連した項目は使用障害の経過とは相関していなかった。

以上より、沿岸部では飲酒行動の二極化が生じている可能性があるものの、アルコール依

存症、アルコール乱用の有病率には有意差を認めなかった。沿岸部では使用障害の回復率がやや低い可能性があるものの、発生率は内陸部と同程度であり、震災に関連した事項は使用障害とは相関を認めなかった。これらの結果から震災が飲酒行動やアルコール使用障害に著しい影響を及ぼしたとは言えず、海外の震災時に観察された現象とは異なる可能性が示唆された。しかし、調査対象者数が限られているため、依存症や乱用の基準に該当した者の数が少ないことから、結果の解釈にあたっては、慎重な姿勢が必要である。

参考文献

- 1) American Psychiatric Association: Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, Fourth Edition, American Psychiatric Association, Washington, D.C., 1994(高橋三郎,大野 裕,染谷俊幸訳:DSM-IV 精神疾患の分類と診断の手引、医学書院、東京、1995)
- 2) Grant BF, Dawson DA, Stinson FS, et al.: The 12-month prevalence and trends in DSM-IV alcohol abuse and dependence: United States, 1991-1992 and 2001-2002. Drug Alcohol Depend, 74: 223-234, 2004.
- 3) Saunders JB, Aasland OG: WHO Collaborative Project on Identification and Treatment of Persons with Harmful Alcohol Consumption, Report on Phase I. Development of a Screening Instrument (MNH/DAT/86.3), World Health Organization, Geneva, 1987.
- 4) 廣尚典、島 悟：問題飲酒指標 AUDIT 日本語版の有用性に関する検討。日本アルコール・薬物医学会雑誌 31; 437-450, 1996.
- 5) Mayfield DG, McLeod G, Hall P: The CAGE questionnaire: validation of a new alcoholism screening instrument. Am J Psychiatry, 131: 1121-1123, 1974

- 6) Heatherton TF, Kozlowski LT, Frecker RC, et al.: The Fagerström Test for Nicotine Dependence: a revision of the Fagerström Tolerance Questionnaire. *Br J Addict*, 86: 1119-1127, 1991.
- 7) Kawakami N, Takatsuka N, Inaba S, et al.: Development of a screening questionnaire for tobacco/nicotine dependence according to ICD-10, DSM-II-R, and DSM-IV. *Addict Behav*, 24: 155-166, 1999
- 8) Young KS: *Caught in the Net*. John Wiley & Sons, Inc., New York, 1998
- 9) Lesieur HR, Blume SB: The South Oaks Gambling Screen (SOGS): a new instrument for the identification of pathological gamblers. *Am J Psychiatry*, 144: 1184-1188, 1987
- 10) Baillie AJ, et al.: The Benzodiazepine Dependence Questionnaire: Development, reliability and validity. *Br J Psychiatry*, 169: 276-281, 1996.

E . 研究発表

1 . 論文発表

- 1) 松下幸生、樋口 進：災害とアルコール関連問題. *トラウマティック・ストレス* 10巻: 71-77, 2013
- 2) 松下幸生、樋口進：アルコール対策は自殺対策でもある：抑うつや精神疾患をもつ人への支援. *保健師ジャーナル* 71:199-204, 2015
- 3) 松下幸生、樋口進：アルコール依存の疫学. *精神科*, 26:38-43, 2015
- 4) 真栄里仁、樋口進：女性の飲酒をめぐる状況と職域での対応 . *産業医学ジャーナル* 37, 14-19, 2014
- 5) 真栄里仁 ,樋口進：アルコール依存症と境界型パーソナリティ障害の重複障害 . *向精神薬と妊娠・授乳* . 伊藤真也 他 (編) pp194-202 , 2014
- 6) 真栄里 仁、佐久間 寛之、木村 充、中

- 山 秀紀、瀧村 剛、吉村 淳、小豆澤 浩司、中井 美紀、藤内 温美、福田 貴博、藤江 昌智、村上 優、杠 岳文、樋口 進：アルコール依存症治療目標についての医師、依存症患者への調査 *日本アルコール関連問題学会雑誌* 2014 : 16 : 62-69
- 7) 真栄里 仁、樋口 進：女性の飲酒をめぐる状況と職域での対応 *産業医学ジャーナル* 2014 : 37 : 14-19
- 8) 伊藤 満、松下幸生、樋口 進 :アルコール依存症と認知障害:*精神科* 2014:24 (5) :516-522
- 9) 佐久間寛之, 樋口 進: 避難所・仮設住宅における飲酒とうつ病の関係. *Depression Frontier* 12(2): 78-83, 2014
- 10) Matsushita S, Higuchi S: Genetic differences in response to alcohol. *Handb Clin Neurol*, 2014; 125:617-27.
- 11) Yokoyama A, Yokoyama T, Mizukami T, Matsui T, Shiraishi K, Kimura M, Matsushita S, Higuchi S, Maruyama K: Alcoholic Ketosis: Prevalence, Determinants, and Ketohepatitis in Japanese Alcoholic Men. *Alcohol Alcohol*, 2014, Aug
- 12) Yokoyama A, Yokoyama T, Brooks PJ, Mizukami T, Matsui T, Kimura M, Matsushita S, Higuchi S, Maruyama K: Macrocytosis, macrocytic anemia, and genetic polymorphisms of alcohol dehydrogenase-1B and aldehyde dehydrogenase-2 in Japanese alcoholic men. *Alcohol Clin Exp Res*, 2014, 38(5):1237-46.
- 13) Higuchi S, Maesato H, Yoshimura A, Matsushita S: Acceptance of controlled drinking among treatment specialists of alcohol dependence in Japan. *Alcohol Alcohol*, 2014;49(4):447-52.

2 . 学会発表 (国内)

- 1) 藤田さかえ：被災地のアルコール関連問

題に対するソーシャルワークのこころみ. 日本アルコール関連問題学会. 岐阜市. 2013.7月

2) 佐久間寛之、松下幸生、木村 充、藤田さかえ、瀧村 剛、尾崎米厚、樋口 進: 被災地におけるアルコール関連問題・嗜癖行動の実態調査. 平成 25 年度アルコール薬物依存関連学会. 岡山市. 2013.10.4

3) 瀧村 剛、松下幸生、中山秀紀、中山寿一、吉村 淳、遠山朋海、真栄里 仁、樋口 進: 東日本大震災後の被災地消防団におけるアルコール関連問題の変化 岩手県大船渡市消防団に対する調査より. 平成 25 年度アルコール薬物依存関連学会. 岡山市. 2013.10.4

4) 瀧村 剛、松下幸生、尾崎米厚、佐久間寛之、中山秀紀、中山寿一、遠山朋海、樋口 進. 東日本大震災被災後の被災地消防団におけるアルコール関連問題の変化 岩手県大船渡市消防団に対する調査より. 日本アルコール薬物医学会、2014 年 10 月 3 日、横浜

5) 湯本洋介、石川達、長徹二、村上優、杠岳文、尾崎米厚、松下幸生、樋口進. 全国調査から見た、女性のアルコール使用の特徴について. 日本アルコール関連問題学会、2014 年 10 月 3 日 - 4 日、横浜

6) 岡田 瞳、伊藤 満、三原 聡子、渡邊 弘、松下 幸生、樋口 進: アルコール依存症を合併するうつ病患者への集団認知行動療法の効果の持続性第 36 回日本アルコール関連問題学会、2014 年 10 月 3 日 - 4 日、横浜

7) 藤田さかえ、佐久間寛之、松下幸生、樋口 進: 当院における東日本大震災復興期の被災地支援の現状報告 第 36 回日本アルコール関連問題学会、2014 年 10 月 3 日 - 4 日、横浜

8) 伊藤 満、松藤みどり、岩本亜希子、瀧村 剛、吉村 淳、松下幸生、樋口 進: 減酒支援の理論と実際: 飲酒運転対策として. 第 36 回日本アルコール関連問題学会 2014 年 10 月 3 日 - 4 日、横浜

3. 学会発表 (国際)

1) Kimura M: The prevalence of alcohol, nicotine, hypnotic abuse in the earthquake and tsunami stricken area in Japan. International Society for Addiction Medicine, Kuala Lumpur, Malaysia. 2013.11月

2) Sakuma H, Matsushita S, Kimura M, Fujita S, Takimura T, Higuchi S: The prevalence of alcohol, nicotine, hypnotic abuse in the earthquake and tsunami stricken area in Japan. Kurihama-Pusan Joint Workshop. Kamakura, Japan, 2014.3月

3) Toyama T, Nakayama H, Takimura T, Yoshimura A, Maesato H, Matsushita S, Osaki Y, Higuchi S. Prevalence of pathological gambling in Japan: Results of national surveys of the general adult population in 2008 and 2013. In Symposium 17: New data on gambling behaviors. Alcohol and Alcoholism. 2014; 49(suppl1): i17.

4) Matsushita S, Sakuma H, Takimura T, Kimura M, Osaki Y, Higuchi S: The Impact of the Great East Japan Earthquake on Alcohol, Nicotine and Hypnotic Abuse and Gambling in Disaster-Stricken Areas. International Society of Addiction medicine annual meeting, Oct 2-6, 2014, Yokohama, Japan

5) Sakuma H, Matsushita S, Fujita S: Teaching motivational interviewing skills to medical care providers in a disaster area. International Society of Addiction medicine annual meeting, Oct 2-6, 2014, Yokohama, Japan

6) Takimura T, Matsushita S, Osaki Y, Sakuma H, Nakayama H, Nakayama H, Toyama T, Higuchi S: ALCOHOL-RELATED PROBLEMS AMONG VOLUNTEER FIREFIGHTERS IN A DISASTER AREA. International Society of Addiction medicine annual meeting, Oct 2-6, 2014,

Yokohama, Japan

7) Matsushita S, Sakuma H, Kimura M, Osaki Y, Higuchi S: The Impact of the Great East Japan Earthquake on Alcohol, Nicotine and Hypnotic Abuse in Disaster-Stricken Areas. Asian-Pacific Society for Alcohol and Addiction Research, April 24-26, 2014, Shanghai, China

8) Yumoto Y, Matsushita S, Higuchi S: Prognostic factors and treatment outcomes in Japanese patients with alcohol dependence: A report from the Japan Collaborative Clinical Study on Alcohol Dependence(JCSA). 16th International Society of Addiction Medicine Annual Meeting(ISAM2014), Oct 2-6, 2014, Yokohama, Japan.

9) Matsushita S, Hara S, Roh S, Oshima S, Siiya S, Fukuda K, Higuchi S: Level of Response to Alcohol and Alcohol Related Problems in Young Japanese Adults. The 17th Congress of the International Society for Biomedical Research on Alcoholism, June 21-25, 2014, Bellevue, Washington, USA.

10) Takimura T: Alcohol-related problems among volunteer firefighters in a disaster area. 16th International Society of Addiction Medicine Annual Meeting (ISAM2014) Oct 2-6, 2014, Yokohama, Japan

11) Itoh M, Yonemoto T, Mihara S, Toyama T, Takimura T, Yoshimura A, Sakuma H, Nakayama H, Komoto Y, Maesato H, Kimura M, Matsushita S, Higuchi S: Model of Alcoholics with Inactive ALDH2: Identifying Personality Risk Factors for Alcohol Use Disorders. 16th International Society of Addiction Medicine Annual Meeting(ISAM2014), Oct 2-6, 2014, Yokohama, Japan

12) Kimura M, Koumoto Y, Maesato H,

Yoshimura A, Toyama T, Nakayama H, Takimura T, Matsushita S, Higuchi S: The characteristics of the treatment systems of alcohol use disorders in Japan. Symposium "ISAM and ESBRA Joint Symposium: Evolving differences in treatment of alcohol use disorders across cultures," RSA-ISBRA Joint Meeting in 2014, June 21-25, 2014, Bellevue, Washington, USA

13) Toyama T, Nakayama H, Takimura T, Yoshimura A, Maesato H, Matsushita S, Osaki Y, Higuchi S: Prevalence of pathological gambling in Japan: Results of national surveys of the general adult population in 2008 and 2013. Symposium "New data on gambling behaviors". the 16th Annual Meeting of the International Society of Addiction Medicine, Oct 2-6, 2014, Yokohama, Japan.

14) Sakuma H, Kimura M, Fujita S, Matsushita S, Higuchi S: Prevalence of alcohol, nicotine and benzodiazepine abuse following the Great East Japan Earthquake and the impact of the disaster on substance abuse. The RSA- ISBRA Joint Meeting in 2014, Bellevue, U.S.A., June 22-25, 2014

15) Minobe R, Matsushita S, Higuchi S: Suicide attempts, suicidal ideation, and depression among Japanese patient with alcohol dependence: a report from the Japan Collaborative Clinical Study on Alcohol Dependence (JCSA). The RSA-ISBRA Joint Meeting in 2014, June 22-25, Bellevue, U.S.A.

16) Sugiura K, Kimura M, Yutani N, Okada H, Ogawa Y, Saito M, Toyama T, Komoto Y, Matsui T, Matsushita S, Higuchi S: Psychological interventions for dementia patients with alcohol use disorders. The 16th Annual

Meeting of the International Society of Addiction Medicine, Oct 2-6, 2014, Yokohama.

17) Kimura M, Itoh M, Yonemoto T, Yoshimura A, Maesato H, Sakuma H, Nakayama H, Toyama T, Matsushita S, Higuchi S: The prevalence of comorbid psychiatric disorders in Japanese inpatients with alcohol dependence. The 16th Annual Meeting of the International Society of Addiction Medicine, Oct 2-6, 2014, Yokohama.

F . 知的財産権の出願・登録状況

1 . 特許取得

なし

2 . 実用新案登録

なし

3 . その他

特記事項なし

表1 基本集計（性・年齢階級別、住居地別 回答数）

年齢 階級	沿岸部						内陸部						全国					
	男性		女性		男女計		男性		女性		男女計		男性		女性		男女合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
20歳代	17	3.9	29	5.1	46	4.6	32	7.5	51	9.4	83	8.5	39	7.9	64	10.9	103	9.5
30歳代	28	6.4	67	11.8	95	9.4	57	13.4	88	16.1	145	14.9	72	14.6	93	15.8	165	15.3
40歳代	66	15.1	97	17.0	163	16.2	65	15.3	81	14.9	146	15.0	77	15.6	108	18.3	185	17.1
50歳代	78	17.9	80	14.0	158	15.7	73	17.1	120	22.0	193	19.9	87	17.7	105	17.8	192	17.7
60-64歳	71	16.3	73	12.8	144	14.3	71	16.7	74	13.6	145	14.9	56	11.4	66	11.2	122	11.3
65-69歳	72	16.5	82	14.4	154	15.3	65	15.3	51	9.4	116	12.0	53	10.8	56	9.5	109	10.1
70-74歳	75	17.2	94	16.5	169	16.8	42	9.9	51	9.4	93	9.6	53	10.8	44	7.5	97	9.0
75歳以上	29	6.7	48	8.4	77	7.7	21	4.9	29	5.3	50	5.2	56	11.4	53	9.0	109	10.1
合計	436	100.0	570	100.0	1006	100.0	426	100.1	545	100.1	971	100.0	493	100.2	589	100.0	1082	100.1

注：端数を四捨五入しているため100パーセントにならない場合がある

表2 基本集計（平均年齢）

	沿岸部			内陸部			全国		
	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計
平均値	58.4	56.6	57.4	54.3	52.3	53.2	54.7	52.0	53.2
最小値	20	20	20	20	20	20	20	20	20
最大値	98	84	98	98	98	98	98	87	98
標準偏差	13.7	15.0	14.5	15.3	15.6	15.5	16.7	16.4	16.6

表 3 - 1 基本集計 (教育年数) (岩手・宮城県調査)

	6 年以下		7 年以上 9 年以下		10 年以上 12 年以下		13 年以上 15 年以下		16 年以上		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
20 歳代	0	0	1	2.0	27	55.1	13	26.5	8	16.3	49
30 歳代	2	2.4	10	12.1	37	44.6	11	13.3	23	27.7	83
40 歳代	1	0.8	21	16.0	63	48.1	20	15.3	26	19.9	131
50 歳代	3	2.0	33	22.0	72	48.0	10	6.7	32	21.3	150
60-64 歳	1	0.7	34	23.9	71	50.0	17	12.0	19	13.4	142
65-69 歳	2	1.5	52	38.5	52	38.5	10	7.4	19	14.1	135
70-74 歳	1	0.9	59	50.4	45	38.5	3	2.6	9	7.7	117
75 歳以上	2	4.0	22	44.0	11	22.0	6	12.0	9	18.0	50
女性											
20 歳代	0	0	6	7.5	42	52.5	15	18.8	17	21.3	80
30 歳代	4	2.6	14	9.0	78	50.3	41	26.5	18	11.6	155
40 歳代	4	2.3	21	11.8	98	55.1	38	21.4	17	9.6	178
50 歳代	3	1.5	30	15.1	108	54.3	37	18.6	21	10.6	199
60-64 歳	4	2.7	38	26.0	87	59.6	12	8.2	5	3.4	146
65-69 歳	2	1.5	47	35.3	57	42.9	23	17.3	4	3.0	133
70-74 歳	1	0.7	72	49.7	63	43.5	7	4.8	2	1.4	145
75 歳以上	1	1.3	44	57.1	26	33.8	6	7.8	0	0	77

表3 - 2 基本集計(教育年数)(全国調査)

	6年以下		7年以上9年以下		10年以上12年以下		13年以上15年以下		16年以上		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
20歳代	0	0	0	0	11	28.2	10	25.6	18	46.2	39
30歳代	0	0	3	4.2	25	34.7	10	13.9	34	47.2	72
40歳代	0	0	4	5.3	28	36.8	13	17.1	31	40.8	76
50歳代	0	0	5	5.8	35	40.2	13	14.9	34	39.1	87
60-64歳	0	0	3	5.4	19	33.9	9	16.1	25	44.6	56
65-69歳	0	0	8	15.1	29	54.7	4	7.6	12	22.6	53
70-74歳	0	0	10	18.9	19	35.9	6	11.3	18	34.0	53
75歳以上	3	5.4	20	35.7	13	23.2	10	17.9	10	17.9	56
女性											
20歳代	0	0	1	1.6	19	29.7	19	29.7	25	39.1	64
30歳代	0	0	2	2.2	28	30.1	42	45.2	21	22.6	93
40歳代	0	0	1	0.9	39	36.5	47	43.9	20	18.7	107
50歳代	1	1.0	4	3.8	55	52.4	30	28.6	15	14.3	105
60-64歳	0	0	8	12.1	32	48.5	16	24.2	10	15.2	66
65-69歳	0	0	10	17.9	36	64.3	4	7.1	6	10.7	56
70-74歳	1	2.3	12	27.3	23	52.3	7	15.9	1	2.3	44
75歳以上	4	7.6	24	45.3	19	35.9	5	9.4	1	1.9	53

表 4 - 1 基本集計（婚姻状況）（岩手・宮城県調査）

	配偶者と同居		配偶者と別居		内縁関係		死別		離婚		未婚（結婚したことがない）		無回答		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性															
20歳代	12	24.5	0	0	0	0	0	0	1	2.0	36	73.5	0	0	49
30歳代	48	56.5	1	1.2	0	0	1	1.2	3	3.5	30	35.3	2	2.4	85
40歳代	85	64.9	5	3.8	0	0	5	3.8	4	3.1	31	23.7	1	0.8	131
50歳代	91	60.3	1	0.7	0	0	8	5.3	19	12.6	30	19.9	2	1.3	151
60-64歳	101	71.1	2	1.4	0	0	8	5.6	13	9.2	18	12.7	0	0	142
65-69歳	98	71.5	3	2.2	0	0	13	9.5	12	8.8	10	7.3	1	0.7	137
70-74歳	88	75.2	0	0	0	0	18	15.4	5	4.3	5	4.3	1	0.9	117
75歳以上	37	74.0	2	4.0	0	0	7	14.0	4	8.0	0	0	0	0	50
女性															
20歳代	28	35.0	0	0	0	0	0	0	5	6.3	47	58.8	0	0	80
30歳代	88	56.8	1	0.7	1	0.7	18	11.6	17	11.0	30	19.4	0	0	155
40歳代	95	53.4	8	4.5	0	0	29	16.3	21	11.8	25	14.0	0	0	178
50歳代	125	62.5	8	4.0	1	0.5	32	16.0	18	9.0	14	7.0	2	1.0	200
60-64歳	95	64.6	6	4.1	0	0	31	21.1	8	5.4	7	4.8	0	0	147
65-69歳	81	60.9	4	3.0	0	0	36	27.1	6	4.5	4	3.0	2	1.5	133
70-74歳	63	43.5	3	2.1	0	0	65	44.8	9	6.2	4	2.8	1	0.7	145
75歳以上	30	39.0	0	0	0	0	42	54.6	2	2.6	2	2.6	1	1.3	77

表4 - 2 基本集計（婚姻状況）（全国調査）

	配偶者と同居		配偶者と別居		内縁関係		死別		離婚		未婚(結婚したことがない)		無回答		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性															
20歳代	9	23.1	1	2.6	0	0	0	0	0	0	28	71.8	1	2.6	39
30歳代	49	68.1	0	0	0	0	0	0	2	2.8	21	29.2	0	0	72
40歳代	56	72.7	0	0	0	0	0	0	1	1.3	20	26.0	0	0	77
50歳代	71	81.6	1	1.2	0	0	0	0	2	2.3	13	14.9	0	0	87
60-64歳	47	83.9	0	0	0	0	0	0	2	3.6	7	12.5	0	0	56
65-69歳	45	84.9	1	1.9	0	0	2	3.8	3	5.7	2	3.8	0	0	53
70-74歳	48	90.6	0	0	0	0	2	3.8	2	3.8	1	1.9	0	0	53
75歳以上	50	89.3	2	3.6	0	0	4	7.1	0	0	0	0	0	0	56
女性															
20歳代	17	26.6	0	0	0	0	0	0	1	1.6	46	71.9	0	0	64
30歳代	71	76.3	1	1.1	0	0	0	0	2	2.2	19	20.4	0	0	93
40歳代	78	72.2	4	3.7	0	0	0	0	7	6.5	19	17.6	0	0	108
50歳代	83	79.1	5	4.8	0	0	4	3.8	5	4.8	8	7.6	0	0	105
60-64歳	48	72.7	0	0	0	0	11	16.7	3	4.6	4	6.1	0	0	66
65-69歳	44	78.6	0	0	0	0	8	14.3	0	0	3	5.4	1	1.8	56
70-74歳	26	59.1	0	0	0	0	12	27.3	4	9.1	2	4.6	0	0	44
75歳以上	26	49.1	3	5.7	0	0	20	37.7	1	1.9	3	5.7	0	0	53

表 5-1 基本集計(同居家族の数)(岩手・宮城県調査)

	1人		2人		3人		4人		5人		6人		7人		8人		9人		10人以上		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		
男 性																						
20歳代	11	22.5	3	6.1	12	24.5	8	16.3	3	6.1	5	10.2	4	8.2	2	4.1	0	0	1	2.0		49
30歳代	11	12.9	22	25.9	17	20.0	18	21.2	13	15.3	2	2.4	1	1.2	1	1.2	0	0	0	0		85
40歳代	22	16.8	36	27.5	20	15.3	31	23.7	13	9.9	2	1.5	6	4.6	0	0	0	0	1	0.8		131
50歳代	31	20.5	50	33.1	29	19.2	19	12.6	12	8.0	7	4.6	2	1.3	1	0.7	0	0	0	0		151
60-64歳	32	22.5	54	38.0	33	23.2	13	9.2	3	2.1	5	3.5	2	1.4	0	0	0	0	0	0		142
65-69歳	27	19.7	46	33.6	30	21.9	14	10.2	8	5.8	9	6.6	3	2.2	0	0	0	0	0	0		137
70-74歳	23	19.7	62	53.0	19	16.2	4	3.4	4	3.4	5	4.3	0	0	0	0	0	0	0	0		117
75歳以上	13	26.0	22	44.0	10	20.0	3	6.0	2	4.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		50
女 性																						
20歳代	8	10.0	8	10.0	18	22.5	20	25.0	22	27.5	3	3.8	1	1.3	0	0	0	0	0	0		80
30歳代	14	9.0	23	14.8	32	20.7	35	22.6	22	14.2	18	11.6	7	4.5	3	1.9	0	0	0	0		155
40歳代	26	14.6	25	14.0	46	25.8	43	24.2	25	14.0	7	3.9	4	2.3	2	1.1	0	0	0	0		178
50歳代	27	13.5	59	29.5	57	28.5	28	14.5	18	9.0	5	2.5	3	1.5	1	0.5	0	0	1	0.5		200
60-64歳	24	16.3	63	42.9	37	25.2	11	7.5	3	2.0	2	1.4	4	2.7	1	0.7	2	1.4	0	0		147
65-69歳	36	27.1	55	41.4	24	18.1	8	6.0	8	6.0	1	0.8	0	0	1	0.8	0	0	0	0		133
70-74歳	53	36.6	67	46.2	13	9.0	5	3.5	3	2.1	3	2.1	0	0	1	0.7	0	0	0	0		145
75歳以上	28	36.4	27	35.1	8	10.4	7	9.1	4	5.2	2	2.6	1	1.3	0	0	0	0	0	0		77

表 5 - 2 基本集計 (同居家族の数) (全国調査)

	1人		2人		3人		4人		5人		6人		7人		8人		合計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		
男 性																		
20歳代	7	18.0	8	20.5	8	20.5	6	15.4	6	15.4	2	5.1	2	5.1	0	0	0	39
30歳代	7	9.7	4	5.6	23	31.9	24	33.3	7	9.7	6	8.3	1	1.4	0	0	0	72
40歳代	7	9.1	17	22.1	17	22.1	18	23.4	12	15.6	5	6.5	1	1.3	0	0	0	77
50歳代	10	11.5	21	24.1	26	29.9	21	24.1	8	9.2	0	0	1	1.2	0	0	0	87
60-64歳	7	12.5	20	35.7	17	30.4	8	14.3	2	3.6	1	1.8	1	0.9	0	0	0	56
65-69歳	4	7.6	23	43.4	14	26.4	7	13.2	3	5.7	2	3.8	0	0	0	0	0	53
70-74歳	5	9.4	24	45.3	15	28.3	3	5.7	4	7.6	2	3.8	0	0	0	0	0	53
75歳以上	3	5.4	33	58.9	12	21.4	3	5.4	1	1.8	4	7.1	0	0	0	0	0	56
女 性																		
20歳代	4	6.3	7	10.9	24	37.5	16	25.0	9	14.1	3	4.7	1	1.6	0	0	0	64
30歳代	6	6.5	10	10.8	18	19.4	37	39.8	11	11.8	8	8.6	2	2.2	1	1.1	1	93
40歳代	7	6.5	11	10.2	28	25.9	40	37.0	15	13.9	6	5.6	0	0	1	0.9	1	108
50歳代	6	5.7	28	26.7	39	37.1	22	21.0	7	6.7	1	1.0	1	1.0	1	1.0	1	105
60-64歳	8	12.1	29	43.9	17	25.8	6	9.1	3	4.6	2	3.0	1	1.5	0	0	0	66
65-69歳	3	5.4	27	48.2	13	23.2	3	5.4	2	3.6	7	12.5	1	1.8	0	0	0	56
70-74歳	9	20.5	17	38.6	14	31.8	3	6.8	1	2.3	0	0	0	0	0	0	0	44
75歳以上	9	17.0	24	45.3	8	15.1	6	11.3	3	5.7	1	1.9	2	3.8	0	0	0	53

表 6- 1 基本集計（職業）（岩手・宮城県調査）

	自営		正社員		非常勤		学生		主婦		無職		その他		不明		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男 性																	
20 歳代	3	6.1	24	49.0	10	20.4	7	14.3	0	0	5	10.2	0	0	0	0	49
30 歳代	4	4.7	56	65.9	9	10.6	0	0	0	0	14	16.5	2	1.5	0	0	85
40 歳代	20	15.3	67	51.2	9	6.9	0	0	0	0	33	25.2	2	1.5	0	0	131
50 歳代	32	21.2	54	35.8	12	8.0	0	0	0	0	53	35.1	0	0	0	0	151
60-64 歳	25	17.6	25	17.6	28	19.7	0	0	0	0	62	43.7	2	1.4	0	0	142
65-69 歳	15	11.0	13	9.5	21	15.3	0	0	0	0	87	63.5	1	0.7	0	0	137
70-74 歳	16	13.7	0	0	10	8.6	0	0	0	0	90	76.9	1	0.9	0	0	117
75 歳以上	8	16.0	1	2.0	1	2.0	0	0	0	0	40	80.0	0	0	0	0	50
女 性																	
20 歳代	3	3.8	20	25.0	27	33.8	5	6.3	16	20.0	9	11.3	0	0	0	0	80
30 歳代	7	4.5	37	23.9	53	34.2	0	0	33	21.3	24	15.5	0	0	1	0.7	155
40 歳代	12	6.7	27	15.2	56	31.5	0	0	45	25.3	37	20.8	1	0.6	0	0	178
50 歳代	24	12.0	31	15.5	48	24.0	0	0	57	28.5	40	20.0	0	0	0	0	200
60-64 歳	18	12.2	4	2.7	33	22.5	0	0	56	38.1	36	24.5	0	0	0	0	147
65-69 歳	16	12.0	1	0.8	10	7.5	0	0	65	48.9	39	29.3	2	1.5	0	0	133
70-74 歳	12	8.3	0	0	1	0.7	0	0	57	39.3	74	51.0	1	0.7	0	0	145
75 歳以上	4	5.2	0	0	1	1.3	0	0	27	35.1	45	58.4	0	0	0	0	77

表 6-2 基本集計(職業)(全国調査)

	自営		正社員		非常勤		学生		主婦		無職		その他		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男 性															
20 歳代	1	2.6	28	71.8	4	10.3	4	10.3	0	0	2	5.1	0	0	39
30 歳代	8	11.1	58	80.6	5	6.9	0	0	0	0	1	1.4	0	0	72
40 歳代	13	16.9	59	76.6	3	3.9	0	0	0	0	2	2.6	0	0	77
50 歳代	20	23.0	52	59.8	6	6.9	0	0	0	0	9	10.3	0	0	87
60-64 歳	11	19.6	18	32.1	14	25.0	0	0	0	0	12	21.4	1	1.8	56
65-69 歳	6	11.3	8	15.1	12	22.6	0	0	0	0	27	50.9	0	0	53
70-74 歳	12	22.6	3	5.7	6	11.3	0	0	0	0	32	60.4	0	0	53
75 歳以上	6	10.7	3	5.4	3	5.4	4	0.8	0	0	44	78.6	0	0	56
女 性															
20 歳代	1	1.6	26	40.6	20	31.3	8	12.5	7	10.9	2	3.1	0	0	64
30 歳代	5	5.4	23	24.7	43	46.2	0	0	20	21.5	1	1.1	1	1.1	93
40 歳代	11	10.2	30	27.8	45	41.7	0	0	18	16.7	3	2.8	1	0.9	108
50 歳代	13	12.4	18	17.1	37	35.2	0	0	34	32.4	3	2.9	0	0	105
60-64 歳	11	16.7	5	7.6	14	21.2	0	0.8	32	48.5	3	4.6	1	1.5	66
65-69 歳	12	21.4	2	3.6	2	3.6	1	1.8	35	62.5	4	7.1	0	0	56
70-74 歳	1	2.3	0	0	4	9.1	0	0	26	59.1	12	27.3	1	2.3	44
75 歳以上	4	7.6	0	0	1	1.9	0	0	31	58.5	17	32.1	0	0	53

表7 基本情報(収入の分布)(岩手・宮城県調査)

	100万未満		100~200万未満		200~300万未満		300~400万未満		400~600万未満		600~800万未満		800~1000万未満		1000~1200万未満		1200~1500万未満		1500万以上		収入なし		不明		合計		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%			
男性																											
20歳代	5	10.2	13	26.5	14	28.6	6	12.2	1	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	12.2	4	8.2	49
30歳代	9	10.6	15	17.7	18	21.2	12	14.1	18	21.2	2	2.4	1	1.2	2	2.4	0	0	0	0	0	0	3	3.5	5	5.9	85
40歳代	14	10.7	13	9.9	26	19.9	24	18.3	19	14.5	14	10.7	1	0.8	0	0	0	0	0	0	1	0.8	7	5.3	12	9.2	131
50歳代	15	9.9	26	17.2	25	16.6	16	10.6	24	15.9	15	9.9	3	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	11.3	10	6.6	151
60-64歳	21	14.8	48	33.8	24	16.9	13	9.2	12	8.5	6	4.2	2	1.4	0	0	2	1.4	0	0	0	0	9	6.3	5	3.5	142
65-69歳	20	14.6	52	38.0	37	27.0	8	5.8	4	2.9	3	2.2	3	2.2	1	0.7	0	0	0	0	0	0	4	2.9	5	3.7	137
70-74歳	25	21.4	44	37.6	29	24.8	9	7.7	3	2.6	1	0.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1.7	4	3.4	117
75歳以上	6	12.0	22	44.0	13	26.0	2	4.0	1	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	12.0	50
女性																											
20歳代	15	18.8	23	28.8	11	13.8	4	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	30.0	3	3.8	80
30歳代	38	24.5	38	24.5	14	9.0	16	10.3	4	2.6	1	0.7	0	0	1	0.7	0	0	0	0	0	0	30	19.4	13	8.4	155
40歳代	49	27.5	44	24.7	18	10.1	12	6.7	4	2.3	2	1.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	22.5	9	5.1	178
50歳代	62	31.0	30	15.0	18	9.0	11	5.5	9	4.5	5	2.5	1	0.5	1	0.5	0	0	0	0	0	0	51	25.5	12	6.0	200
60-64歳	66	44.9	38	25.9	9	6.1	1	0.7	0	0	0	0	1	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	20	13.6	12	8.2	147
65-69歳	59	44.4	38	28.6	11	8.3	1	0.8	3	2.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	10.5	7	5.3	133
70-74歳	87	60.0	36	24.8	12	8.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.7	5	3.5	4	2.8	145		
75歳以上	44	57.1	22	28.6	6	7.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.3	4	5.2	77

表7 基本情報（収入の分布）（全国調査）

	100万未満		100~200万未満		200~300万未満		300~400万未満		400~600万未満		600~800万未満		800~1000万未満		1000~1200万未満		1200~1500万未満		1500万以上		収入なし		不明		合計		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%			
男性																											
20歳代	3	7.7	3	7.7	13	33.3	11	28.2	2	5.1	1	2.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7.7	3	7.7	39
30歳代	2	2.8	6	8.3	10	13.9	21	29.2	14	19.4	10	13.9	2	2.8	1	1.4	0	0	0	0	0	0	0	0	6	8.3	72
40歳代	2	2.6	3	3.9	9	11.7	15	19.5	16	20.8	17	22.1	5	6.5	2	2.6	2	2.6	2	2.6	2	2.6	2	2.6	2	2.6	77
50歳代	5	5.8	9	10.3	8	9.2	11	12.6	13	14.9	14	16.1	9	10.3	4	4.6	1	1.2	2	2.3	6	6.9	5	5.8	87		
60-64歳	3	5.4	10	17.9	11	19.6	5	8.9	10	17.9	7	12.5	2	3.6	3	5.4	1	1.8	1	1.8	2	3.6	1	1.8	56		
65-69歳	2	3.8	10	18.9	26	49.1	6	11.3	4	7.6	0	0	2	3.8	0	0	0	0	0	0	1	1.9	0	0	2	3.8	53
70-74歳	2	3.8	10	18.9	19	35.9	10	8.9	1	1.9	2	3.8	1	1.9	2	3.8	0	0	1	1.9	0	0	5	9.4	53		
75歳以上	5	8.9	18	32.1	22	39.3	6	10.7	1	1.8	1	1.8	1	1.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3.6	56
女性																											
20歳代	12	18.8	16	25.0	14	21.9	7	10.9	1	1.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	15.6	4	6.3	64
30歳代	22	23.7	19	20.4	10	10.8	9	9.7	5	5.4	1	1.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	19.4	9	9.7	93
40歳代	24	22.2	26	24.1	10	9.3	11	10.2	6	5.6	5	4.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	16.7	8	7.4	108
50歳代	21	20.0	27	25.7	6	5.7	6	5.7	3	2.9	5	4.8	3	2.9	1	1.0	0	0	0	0	28	26.7	5	4.8	105		
60-64歳	27	40.9	15	22.7	4	6.1	1	1.5	1	1.5	1	1.5	1	1.5	0	0	0	0	0	0	12	18.2	4	6.1	66		
65-69歳	23	41.1	15	26.8	4	7.1	3	5.4	3	5.4	1	1.8	0	0	1	1.8	0	0	0	0	3	5.4	3	5.4	56		
70-74歳	15	34.1	15	34.1	5	11.4	2	4.6	1	2.3	0	0	0	0	0	0	1	2.3	0	0	2	4.6	3	6.8	44		
75歳以上	24	45.3	18	34.0	5	9.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	11.3	53

表 8 被災関連の情報（震災による仕事の変化の有無）（岩手・宮城県調査）

	沿岸部							内陸部						
	震災で失業		震災と無関係に退職		変化なし		合計	震災で失業		震災と無関係に退職		変化なし		合計
	実数	%	実数	%	実数	%								
男 性														
20 歳代	2	66.7	1	33.3	0	0	3	0	0	0	0	2	100.0	2
30 歳代	0	0	2	25.0	6	75.0	8	1	16.7	0	0	5	83.3	6
40 歳代	5	21.7	5	21.7	13	56.5	23	0	0	0	0	10	100.0	10
50 歳代	11	27.5	3	7.5	26	65.0	40	0	0	2	15.4	11	84.6	13
60-64 歳	8	22.9	9	25.7	18	51.4	35	1	3.7	5	18.5	21	77.8	27
65-69 歳	13	24.5	10	18.9	30	56.6	53	1	2.9	3	8.8	30	88.2	34
70-74 歳	13	22.8	13	22.8	31	54.4	57	0	0	4	12.1	29	87.9	33
75 歳以上	5	20.0	1	4.0	19	76.0	25	0	0	0	0	13	100.0	13
女 性														
20 歳代	1	7.1	1	7.1	12	85.7	14	1	9.1	1	9.1	9	81.8	11
30 歳代	7	21.9	5	15.6	20	62.5	32	0	0	2	8.3	22	91.7	24
40 歳代	14	26.4	5	9.4	34	64.2	53	0	0	3	10.3	26	89.7	29
50 歳代	17	37.8	1	2.2	27	60.0	45	2	4.1	2	4.1	45	91.8	49
60-64 歳	7	13.7	7	13.7	37	72.6	51	1	2.6	2	5.3	35	92.1	38
65-69 歳	14	20.3	4	5.8	51	73.9	69	0	0	0	0	31	100.0	31
70-74 歳	17	20.5	3	3.6	63	75.9	83	0	0	2	5.1	37	94.9	39
75 歳以上	10	23.3	2	4.7	31	72.1	43	0	0	1	3.9	25	96.2	26

表9 被災関連の情報（自宅の被災状況）（岩手・宮城県調査）

	沿岸部											内陸部										
	全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊		損壊なし		合計	全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊		損壊なし		合計
男 性	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
20歳代	16	94.1	0	0	1	5.9	0	0	0	0	17	0	0	1	3.1	0	0	9	28.1	22	68.8	32
30歳代	26	92.9	2	7.1	0	0	0	0	0	0	28	1	1.8	0	0	2	3.5	20	35.1	34	59.7	57
40歳代	62	93.9	1	1.5	2	3.0	1	1.5	0	0	66	0	0	1	1.5	3	4.6	22	33.9	39	60.0	65
50歳代	72	92.3	4	5.1	2	2.6	0	0	0	0	78	1	1.4	2	2.7	5	6.9	28	38.4	37	50.7	73
60-64歳	61	85.9	8	11.3	2	2.8	0	0	0	0	71	3	4.2	0	0	4	5.6	26	36.6	38	53.5	71
65-69歳	67	93.1	2	2.8	0	0	0	0	3	4.2	72	3	4.6	2	3.1	3	4.6	23	35.4	34	52.3	65
70-74歳	68	90.7	5	6.7	0	0	0	0	2	2.7	75	1	2.4	0	0	1	2.4	14	33.3	26	61.9	42
75歳以上	25	86.2	2	6.9	1	3.5	0	0	1	3.5	29	1	4.8	0	0	0	0	5	23.8	15	71.4	21
女 性																						
20歳代	21	72.4	6	20.7	2	6.9	0	0	0	0	29	0	0	0	0	2	3.9	12	23.5	37	72.6	51
30歳代	59	88.1	5	7.5	1	1.5	1	1.5	1	1.5	67	0	0	1	1.1	5	5.7	26	29.6	56	63.6	88
40歳代	87	89.7	7	7.2	2	2.1	1	1.0	0	0	97	2	2.5	1	1.2	4	4.9	22	27.2	52	64.2	81
50歳代	68	85.0	9	11.3	2	2.5	0	0	1	1.3	80	2	1.7	0	0	9	7.5	59	49.2	50	41.7	120
60-64歳	66	90.4	4	5.5	2	2.7	1	1.4	0	0	73	3	4.1	1	1.4	2	2.7	31	41.9	37	50.0	74
65-69歳	75	91.5	7	8.5	0	0	0	0	0	0	82	0	0	1	2.0	5	5.9	19	37.3	28	54.9	51
70-74歳	85	90.4	4	4.3	2	2.12	2	2.1	1	1.1	94	0	0	0	0	2	3.9	23	45.1	26	51.0	51
75歳以上	45	99.8	2	4.2	1	2.1	0	0	0	0	48	0	0	2	6.9	1	3.5	9	31.0	17	58.6	29

表 11 被災関連の情報（家族・親戚の喪失）（岩手・宮城県調査）

	沿岸部					内陸部				
	あり		なし		合計	あり		なし		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男 性										
20 歳代	7	41.2	10	58.8	17	4	12.5	28	87.5	32
30 歳代	8	28.6	20	71.4	28	5	8.8	52	91.2	57
40 歳代	27	40.9	39	59.1	66	4	6.2	61	93.9	65
50 歳代	41	52.6	37	47.4	78	6	8.2	67	91.8	73
60-64 歳	27	38.0	44	62.0	71	8	11.3	63	88.7	71
65-69 歳	38	52.8	34	47.2	72	6	9.2	59	90.8	65
70-74 歳	41	54.7	34	45.3	75	5	11.9	37	88.1	42
75 歳以上	11	37.9	18	62.1	29	3	14.3	18	85.7	21
女 性										
20 歳代	10	34.5	19	65.5	29	5	9.8	46	90.2	51
30 歳代	41	61.2	26	38.8	67	10	11.4	78	88.6	88
40 歳代	49	50.5	48	49.5	97	4	4.9	77	95.1	81
50 歳代	44	55.0	36	45.0	80	15	12.5	105	87.5	120
60-64 歳	37	50.7	36	49.3	73	6	8.1	68	91.9	74
65-69 歳	44	53.7	38	46.3	82	4	7.8	47	92.2	51
70-74 歳	47	50.0	47	50.0	94	7	13.7	44	86.3	51
75 歳以上	26	54.2	22	45.8	48	2	6.9	27	93.1	29

表 12 被災関連の情報（全国調査）

	震災による被害あり		震災による被害なし		合計
	実数	%	実数	%	
男 性					
20 歳代	3	7.7	36	92.3	39
30 歳代	3	4.2	68	95.8	71
40 歳代	4	5.2	73	94.8	77
50 歳代	9	10.3	78	89.7	87
60-64 歳	4	7.1	52	92.9	56
65-69 歳	0	0	53	100.0	53
70-74 歳	6	11.3	47	88.7	53
75 歳以上	1	1.8	54	98.2	55
女 性					
20 歳代	4	6.4	59	93.7	63
30 歳代	5	5.4	87	94.6	92
40 歳代	8	7.5	99	92.5	107
50 歳代	10	9.5	95	90.5	105
60-64 歳	8	12.3	57	87.7	65
65-69 歳	4	7.1	52	92.9	56
70-74 歳	2	4.7	41	95.4	43
75 歳以上	0	0	53	100.0	53

表 13 飲酒経験の有無

	沿岸部					内陸部					全国				
	あり		なし		合計	あり		なし		合計	あり		なし		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性	376	86.2	60	13.8	436	392	92.0	34	8.0	426	466	94.5	27	5.5	493
20歳代	16	94.1	1	5.9	17	31	96.9	1	3.1	32	38	97.4	1	2.6	39
30歳代	23	82.1	5	17.9	28	54	94.7	3	5.3	57	68	94.4	4	5.6	72
40歳代	57	86.4	9	13.6	66	61	93.9	4	6.2	65	73	94.8	4	5.2	77
50歳代	67	85.9	11	14.1	78	65	89.0	8	11.0	73	85	97.7	2	2.3	87
60-64歳	65	91.6	6	8.5	71	64	90.1	7	9.9	71	52	92.9	4	7.1	56
65-69歳	63	87.5	9	12.5	72	56	86.2	9	13.9	65	51	96.2	2	3.8	53
70-74歳	62	82.7	13	17.3	75	41	97.6	1	2.4	42	51	96.2	2	3.8	53
75歳以上	23	79.3	6	20.7	29	20	95.2	1	4.8	21	48	85.7	8	14.3	56
女性	291	51.1	279	49.0	570	365	66.9	181	33.2	546	471	80.0	118	20.0	589
20歳代	24	82.8	5	17.2	29	45	88.2	6	11.8	51	61	95.3	3	4.7	64
30歳代	47	70.2	20	29.9	67	69	78.4	19	21.6	88	84	90.3	9	9.7	93
40歳代	62	63.9	35	36.1	97	60	74.1	21	25.9	81	96	88.9	12	11.1	108
50歳代	49	61.3	31	38.8	80	83	69.2	37	30.8	120	93	88.6	12	11.4	105
60-64歳	30	41.1	43	58.9	73	43	58.1	31	41.9	74	51	77.3	15	22.7	66
65-69歳	35	42.7	47	57.3	82	30	58.8	21	41.2	51	34	60.7	22	39.3	56
70-74歳	29	30.9	65	69.2	94	22	43.1	29	56.9	51	26	59.1	18	40.9	44
75歳以上	15	31.3	33	68.8	48	12	41.4	17	58.6	29	26	49.1	27	50.9	53

表 14-1 飲酒頻度（性別、年代別）（岩手・宮城県調査）

	毎日		週 3~6 日		月 2~4 日		月 1 日以下		過去 1 年飲酒なし		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男 性											
20 歳代	5	10.6	6	12.8	17	36.2	14	29.8	5	10.6	47
30 歳代	18	23.4	11	14.3	15	19.5	20	26.0	13	16.9	77
40 歳代	35	29.7	22	18.6	17	14.4	22	18.6	22	18.6	118
50 歳代	50	37.9	21	15.9	23	17.4	19	14.4	19	14.4	132
60-64 歳	57	44.2	23	17.8	10	7.8	15	11.6	24	18.6	129
65-69 歳	56	47.1	16	13.5	11	9.2	12	10.1	24	20.2	119
70-74 歳	45	43.7	15	14.6	13	12.6	9	8.7	21	20.4	103
75 歳以 上	12	27.9	2	4.7	8	18.6	4	9.3	17	39.5	43
女 性											
20 歳代	6	8.7	6	8.7	21	30.4	24	34.8	12	17.4	69
30 歳代	12	10.3	15	12.9	18	15.5	35	30.2	36	31.0	116
40 歳代	13	10.7	15	12.3	29	23.8	38	31.2	27	22.1	122
50 歳代	23	17.4	15	11.4	29	22.0	41	31.1	24	18.2	132
60-64 歳	11	15.1	10	13.7	14	19.2	20	27.4	18	24.7	73
65-69 歳	11	16.9	4	6.2	6	9.2	20	30.8	24	36.9	65
70-74 歳	1	2.0	9	17.7	5	9.8	13	25.5	23	45.1	51
75 歳以 上	1	3.7	3	11.1	5	18.5	4	14.8	14	51.9	27

表 14-2 飲酒頻度（性別、年代別）（全国調査）

	毎日		週 3~6 日		月 2~4 日		月 1 日以下		過去 1 年飲酒なし		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
20 歳代	0	0	6	15.8	22	57.9	10	26.3	0	0	38
30 歳代	19	27.9	9	13.2	18	26.5	17	25.0	5	7.4	68
40 歳代	25	34.3	17	23.3	20	27.4	6	8.2	5	6.9	73
50 歳代	36	42.4	17	20.0	15	17.7	6	7.1	11	12.9	85
60-64 歳	24	46.2	12	23.1	6	11.5	7	13.5	3	5.8	52
65-69 歳	24	47.1	8	15.7	7	13.7	5	9.8	7	13.7	51
70-74 歳	18	35.3	9	17.7	7	13.7	7	13.7	10	19.6	51
75 歳以上	20	41.7	9	18.8	7	14.6	5	10.4	7	14.6	48
女性											
20 歳代	5	8.2	5	8.2	18	29.5	27	44.3	6	9.8	61
30 歳代	8	9.5	4	4.8	26	31.0	22	26.2	24	28.6	84
40 歳代	18	18.8	16	16.7	23	24.0	24	25.0	15	15.6	96
50 歳代	9	9.7	12	12.9	20	21.5	24	25.8	28	30.1	93
60-64 歳	4	7.8	8	15.7	10	19.6	18	35.3	11	21.6	51
65-69 歳	3	8.8	2	.9	8	23.5	8	23.5	13	38.2	34
70-74 歳	5	19.2	1	3.9	4	15.4	6	23.1	10	38.5	26
75 歳以上	2	7.7	1	3.9	2	7.7	6	23.1	15	57.7	26

表 15 飲酒量の比較（飲酒経験のある者のみ）（純アルコール 10 グラムを 1 単位とする）

	沿岸部		内陸部		全国	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
平均値	4.1	2.6	3.6	2.5	4.3	2.5
最小値	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
最大値	26.0	14.5	25.0	11.7	35.9	20.0
標準偏差	3.5	2.5	3.2	2.2	3.9	2.4

表 16 飲酒量の分布（性別、年代別）（岩手・宮城県調査）

	全く飲まない		2 単位未満		2 単位以上 4 単位未満		4 単位以上 6 単位未満		6 単位以上 10 単位未満		10 単位以上		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性													
20 歳代	6	12.8	19	40.4	14	29.8	5	10.6	2	4.3	1	2.1	47
30 歳代	14	17.1	38	46.3	20	24.4	8	9.8	2	2.3	0	0	82
40 歳代	34	27.2	52	41.6	24	19.2	11	8.8	2	1.6	2	1.6	125
50 歳代	36	25.7	52	37.1	33	23.6	13	9.3	5	3.6	1	0.7	140
60-64 歳	34	24.6	54	39.1	38	27.5	10	7.3	2	1.5	0	0	138
65-69 歳	36	28.4	52	40.9	28	22.1	9	7.1	2	1.6	0	0	127
70-74 歳	32	30.8	43	41.4	20	19.2	8	7.7	0	0	1	1.0	104
75 歳以上	17	40.5	18	42.9	6	14.3	0	0	1	2.4	0	0	42
女性													
20 歳代	20	27.0	33	44.6	14	18.9	4	5.4	2	2.7	1	1.4	74
30 歳代	63	42.6	60	40.5	15	10.1	7	4.7	1	0.7	2	1.4	148
40 歳代	72	44.2	62	38.0	20	12.3	9	5.5	0	0	0	0	163
50 歳代	84	43.3	90	46.4	15	7.7	2	1.0	0	0	3	1.6	194
60-64 歳	84	60.9	45	32.6	6	4.4	2	1.5	1	0.7	0	0	138
65-69 歳	87	71.9	32	26.5	1	0.8	1	0.8	0	0	0	0	121
70-74 歳	100	78.1	26	20.3	2	1.6	0	0	0	0	0	0	128
75 歳以上	58	86.6	8	11.9	1	1.5	0	0	0	0	0	0	67

表 17 飲酒量の分布（性別、年代別）（全国調査）

	全く飲まない		2 単位未満		2 単位以上 4 単位未満		4 単位以上 6 単位未満		6 単位以上 10 単位未満		10 単位以上		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性													
20 歳代	1	2.6	15	38.5	14	35.9	3	7.7	3	7.7	3	7.7	39
30 歳代	9	12.5	17	23.6	21	29.2	12	16.7	6	8.3	7	9.7	72
40 歳代	9	11.7	20	26.0	15	19.5	14	18.2	12	15.6	7	9.1	77
50 歳代	14	16.1	14	16.1	19	21.8	17	19.5	12	13.8	11	12.6	87
60-64 歳	7	12.5	14	25.0	17	30.4	11	19.6	4	7.1	3	5.4	56
65-69 歳	9	17.0	13	24.5	14	26.4	11	20.8	5	9.4	1	1.9	53
70-74 歳	12	22.6	14	26.4	12	22.6	8	15.1	6	11.3	1	1.9	53
75 歳以上	15	26.8	13	23.2	17	30.4	5	8.9	6	10.7	0	0	56
女性													
20 歳代	9	14.1	14	21.9	24	37.5	6	9.4	10	15.6	1	1.6	64
30 歳代	33	35.5	23	24.7	21	22.6	12	12.9	4	4.3	0	0	93
40 歳代	29	26.9	35	32.4	26	24.1	12	11.1	5	4.6	1	0.9	108
50 歳代	42	40.0	30	28.6	19	18.1	8	7.6	2	1.9	4	3.8	105
60-64 歳	26	39.4	32	48.5	4	6.1	1	1.5	3	4.6	0	0	66
65-69 歳	35	62.5	17	30.4	3	5.4	1	1.8	0	0	0	0	56
70-74 歳	28	63.4	14	31.8	1	2.3	1	2.3	0	0	0	0	44
75 歳以上	42	79.3	9	17.0	2	3.8	0	0	0	0	0	0	53

表 18 飲酒量の比較

	沿岸部												内陸部													
	飲まない		1~2 単位		3~4 単位		5~6 単位		7~9 単位		10 単位以上		合計	飲まない		1~2 単位		3~4 単位		5~6 単位		7~9 単位		10 単位以上		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性	142	32.6	71	16.3	96	22.0	68	15.6	45	10.3	14	3.2	436	99	23.2	93	21.8	118	27.7	69	16.2	31	7.3	16	3.8	426
女性	376	66.0	98	17.2	58	10.2	20	3.5	12	2.1	6	1.1	570	271	49.6	145	26.6	79	14.5	28	3.3	18	3.3	5	0.9	546
	全国																									
	飲まない		1~2 単位		3~4 単位		5~6 単位		7~9 単位		10 単位以上		合計													
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%														
男性	76	15.4	120	24.3	129	26.2	81	16.4	54	11.0	33	6.7	493													
女性	244	41.4	174	29.5	100	17.0	41	7.0	24	4.1	6	1.0	589													

男性： $\chi^2 = 50.2$, $p < 0.0001$ 、女性： $\chi^2 = 74.0$, $p < 0.0001$

表 19 多量飲酒者の割合（飲酒者のみ）

	沿岸部					内陸部					全国				
	60g 未満		60g 以上		合計	60g 未満		60g 以上		合計	60g 未満		60g 以上		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性	235	79.9	59	20.1	294	280	85.6	47	14.4	327	330	79.1	87	20.9	417
女性	176	90.7	18	9.3	194	252	91.6	23	8.4	275	315	91.3	30	8.7	345

表 20-1 寝酒の習慣の比較（性別、年齢別）（岩手・宮城県調査）

	毎日		週 3-6 日		月 2~4 日		月 1 日以下		なし		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
20 歳代	1	2.2	3	6.5	4	8.7	3	6.5	35	76.1	46
30 歳代	3	3.8	1	1.3	4	5.0	8	10.0	64	80.0	80
40 歳代	7	5.9	5	4.2	3	2.5	9	7.6	95	79.8	119
50 歳代	8	5.8	7	5.1	2	1.5	12	8.8	108	78.8	137
60-64 歳	14	11.1	3	2.4	4	3.2	6	4.8	99	78.6	126
65-69 歳	7	5.8	6	5.0	3	2.5	3	2.5	102	84.3	121
70-74 歳	10	10.3	5	5.2	0	0	5	5.2	77	79.4	97
75 歳以上	2	5.0	1	2.5	0	0	3	7.5	34	85.0	40
女性											
20 歳代	1	1.4	2	2.8	2	2.8	8	11.1	59	81.9	72
30 歳代	2	1.5	3	2.2	4	2.9	7	5.1	122	88.4	138
40 歳代	3	1.9	4	2.5	8	5.0	8	5.0	137	85.6	160
50 歳代	6	3.3	3	1.6	5	2.7	13	7.1	156	85.3	183
60-64 歳	0	0	1	0.8	5	4.0	6	4.8	114	90.5	126
65-69 歳	2	1.9	1	1.0	1	1.0	2	1.9	98	94.2	104
70-74 歳	0	0	1	0.9	0	0	3	2.5	114	96.6	118
75 歳以上	0	0	1	1.6	0	0	2	3.2	59	95.2	62

表 20-2 寝酒の習慣の比較（性別、年齢別）（全国調査）

	毎日		週 3~6 日		月 2~4 日		月 1 日以下		なし		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性	30	6.4	16	3.4	13	2.8	25	5.3	384	82.1	468
20 歳代	0	0	1	2.8	1	2.8	5	13.9	29	80.6	36
30 歳代	5	7.0	3	4.2	4	5.6	2	2.8	57	80.3	71
40 歳代	7	9.3	8	10.7	3	4.0	4	5.3	53	70.7	75
50 歳代	5	6.0	3	3.6	4	4.8	5	6.0	66	79.5	83
60 歳代	5	4.6	0	0	0	0	7	6.5	96	88.9	108
70 歳代	7	9.3	1	1.3	1	1.3	2	2.7	64	85.3	75
80 歳以上	1	5.0	0	0	0	0	0	0	19	95.0	20
女性	11	2.0	2	0.4	7	1.3	21	3.7	520	92.7	561
20 歳代	0	0	0	0	0	0	2	3.3	60	96.8	62
30 歳代	3	3.3	0	0	2	2.2	3	3.3	84	91.3	92
40 歳代	4	3.8	0	0	3	2.8	9	8.5	90	84.9	106
50 歳代	2	2.0	0	0	1	1.0	3	3.0	94	94.0	100
60 歳代	0	0	2	1.8	1	0.9	3	2.6	108	94.7	114
70 歳代	2	2.8	0	0	0	0	1	1.4	69	95.8	72
80 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	15	100.0	15

表 21 寝酒の頻度の比較（性別）

	沿岸部											内陸部										
	毎日		週 3~6 日		月 2~4 日		月 1 日以下		なし		合計	毎日		週 3~6 日		月 2~4 日		月 1 日以下		なし		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性	26	7.1	18	4.9	9	2.5	22	6.0	290	79.5	365	26	6.5	13	3.2	11	2.7	27	6.7	324	80.8	401
女性	9	2.0	9	2.0	13	2.8	20	4.3	411	89.0	462	5	1.0	7	1.4	12	2.4	29	5.8	448	89.4	501
	全国																					
	毎日		週 3~6 日		月 2~4 日		月 1 日以下		なし		合計											
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%												
男性	30	6.4	16	3.4	13	2.8	25	5.3	384	82.1	468											
女性	11	2.0	2	0.4	7	1.3	21	3.7	520	92.7	561											

表 22 AUDIT の点数分布（岩手・宮城県調査）

	AUDIT 点数														
	8点未満		8点以上		合計	12点未満		12点以上		合計	15点未満		15点以上		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性 20歳代	40	87.0	6	13.0	46	44	95.7	2	4.4	46	45	97.8	1	2.2	46
30歳代	63	77.8	18	22.2	81	75	92.6	6	7.4	81	78	96.3	3	3.7	81
40歳代	100	80.7	24	19.4	124	115	92.7	9	7.3	124	119	96.0	5	4.0	124
50歳代	100	73.5	36	26.5	136	117	86.0	19	14.0	136	128	94.1	8	5.9	136
60-64歳	96	74.4	33	25.6	129	118	91.5	11	8.5	129	124	96.1	5	3.9	129
65-69歳	93	75.6	30	24.4	123	111	90.2	12	9.8	123	118	95.9	5	4.1	123
70-74歳	73	73.7	26	26.3	99	84	84.9	15	15.2	99	92	92.9	7	7.1	99
75歳以上	37	92.5	3	7.5	40	39	97.5	1	2.5	40	39	97.5	1	2.5	40
全体	602	77.4	176	22.6	778	703	90.4	75	9.6	778	743	95.5	35	4.5	778
女性 20歳代	68	93.2	5	6.9	73	73	100.0	0	0	73	73	100.0	0	0	73
30歳代	136	94.4	8	5.6	144	142	98.6	2	1.4	144	143	99.3	1	0.7	144
40歳代	153	95.6	7	4.4	160	155	96.9	5	3.1	160	156	97.5	4	2.5	160
50歳代	180	95.2	9	4.8	189	183	96.8	6	3.2	189	187	98.9	2	1.1	189
60-64歳	129	98.5	2	1.5	131	129	99.1	2	1.5	131	129	98.5	2	1.5	131
65-69歳	105	98.1	2	1.9	107	106	99.1	1	0.9	107	107	100.0	0	0	107
70-74歳	120	99.2	1	0.8	121	120	99.2	1	0.8	121	121	100.0	0	0	121
75歳以上	63	100.0	0	0	63	63	100.0	0	0	63	63	100.0	0	0	63
全体	954	96.6	34	3.4	988	971	98.3	17	1.7	988	979	99.1	9	0.9	988

表 22 AUDIT の点数分布 (全国調査)

	AUDIT 点数														
	8 点未満		8 点以上		合計	12 点未満		12 点以上		合計	15 点未満		15 点以上		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性 20 歳代	31	86.1	5	13.9	36	36	100.0	0	0	36	36	100.0	0	0	36
30 歳代	56	80.0	14	20.0	70	60	85.7	10	14.3	70	65	92.9	5	7.1	70
40 歳代	52	68.4	24	31.6	76	66	86.8	10	13.2	76	69	90.8	7	9.2	76
50 歳代	54	64.3	30	35.7	84	72	85.7	12	14.3	84	77	91.7	7	8.3	84
60-64 歳	42	77.8	12	22.2	54	48	88.9	6	11.1	54	51	94.4	3	5.6	54
65-69 歳	35	68.6	16	31.4	51	46	90.2	5	9.8	51	48	94.1	3	5.9	51
70-74 歳	38	80.9	9	19.2	47	45	95.7	2	4.3	47	45	95.7	2	4.3	47
75 歳以上	40	83.3	8	16.7	48	46	95.8	2	4.2	48	48	100.0	0	0	48
全体	348	74.7	118	25.3	466	419	89.9	47	10.1	466	439	94.2	27	5.8	466
女性 20 歳代	55	88.7	7	11.3	62	62	100.0	0	0	62	62	100.0	0	0	62
30 歳代	88	94.6	5	5.4	93	90	96.8	3	3.2	93	91	97.9	2	2.2	93
40 歳代	99	92.5	8	7.5	107	103	96.3	4	3.7	107	104	97.2	3	2.8	107
50 歳代	100	99.0	1	1.0	101	101	100.0	0	0	101	101	100.0	0	0	101
60-64 歳	64	98.5	1	1.5	65	65	100.0	0	0	65	65	100.0	0	0	65
65-69 歳	54	100.0	0	0	54	54	100.0	0	0	54	54	100.0	0	0	54
70-74 歳	40	100.0	0	0	40	40	100.0	0	0	40	40	100.0	0	0	40
75 歳以上	49	100.0	0	0	49	49	100.0	0	0	49	49	100.0	0	0	49
全体	954	96.6	34	3.4	571	564	98.8	7	1.2	571	566	99.1	5	0.9	571

表 23 AUDIT8 点以上の比較

	沿岸部					内陸部					全国				
	8点未満		8点以上		合計	8点未満		8点以上		合計	8点未満		8点以上		合計
	実数	%	実数	%		実数	実数	%	実数		実数	%	実数	%	
男性	291	77.2	86	22.8	377	311	77.6	90	22.4	401	348	74.7	118	25.3	466
女性	468	97.1	14	2.9	482	486	96.1	20	4.0	506	549	96.2	22	3.9	571

表 24 AUDIT12 点以上の比較

	沿岸部					内陸部					全国				
	12点未満		12点以上		合計	12点未満		12点以上		合計	12点未満		12点以上		合計
	実数	%	実数	%		実数	実数	%	実数		実数	%	実数	%	
男性	339	89.9	38	10.1	377	364	90.8	37	9.2	401	419	89.9	47	10.1	466
女性	473	98.1	9	1.9	482	498	98.4	8	1.6	506	564	98.8	7	1.2	571

表 25 AUDIT15 点以上の比較

	沿岸部					内陸部					全国				
	15点未満		15点以上		合計	15点未満		15点以上		合計	15点未満		15点以上		合計
	実数	%	実数	%		実数	実数	%	実数		実数	%	実数	%	
男性	355	94.2	22	5.8	377	388	96.8	13	3.2	401	439	94.2	27	5.8	466
女性	477	99.0	5	1.0	482	502	99.2	4	0.8	506	566	99.1	5	0.9	571

表 27 CAGE2 点以上の割合の比較

	沿岸部					内陸部					全国				
	2点未満		2点以上		合計	2点未満		2点以上		合計	2点未満		2点以上		合計
	実数	%	実数	%		実数	実数	%	実数		実数	%	実数	%	
男性	384	92.3	32	7.7	416	388	96.8	13	3.2	401	431	90.4	46	9.6	477
女性	533	98.3	9	1.7	542	502	99.2	4	0.8	506	576	99.5	3	0.5	579

表 28-1 DSM-IV 依存および乱用基準の割合（岩手・宮城県調査）

	依存（現在）なし		依存（現在）あり		合計	依存（生涯）なし		依存（生涯）あり		合計	乱用（現在）なし		乱用（現在）あり		合計	乱用（生涯）なし		乱用（生涯）あり		合計	
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		
男性																					
20 歳代	48	98.0	1	2.0	49	48	98.0	1	2.0	49	49	100.0	0	0	49	49	100.0	0	0	49	
30 歳代	80	94.1	5	5.9	85	79	92.9	6	7.1	85	85	100.0	0	0	85	81	95.3	4	4.7	85	
40 歳代	126	96.2	5	3.8	131	124	94.7	7	5.3	131	129	98.5	2	1.5	131	117	89.3	14	10.7	131	
50 歳代	140	92.7	11	7.3	151	140	92.7	11	7.3	151	149	98.7	2	1.3	151	137	90.7	14	9.3	151	
60-64 歳	137	96.5	5	3.5	142	139	97.9	3	2.1	142	139	97.9	3	2.1	142	120	84.5	22	15.5	142	
65-69 歳	134	97.8	3	2.2	137	132	96.4	5	3.7	137	137	100.0	0	0	137	122	89.1	15	11.0	137	
70-74 歳	113	96.6	4	3.4	117	112	95.7	5	4.3	117	115	98.3	2	1.7	117	110	94.0	7	6.0	117	
75 歳以上	48	96.0	2	4.0	50	49	98.0	1	2.0	50	49	98.0	1	2.0	50	47	94.0	3	6.0	50	
女性																					
20 歳代	77	96.3	3	3.8	80	79	98.8	1	1.3	80	79	98.8	1	1.3	80	78	97.5	2	2.5	80	
30 歳代	153	98.7	2	1.3	155	153	98.7	2	1.3	155	154	99.4	1	0.7	155	153	98.7	2	1.3	155	
40 歳代	177	99.4	1	0.6	178	177	99.4	1	0.6	178	178	100.0	0	0	178	175	98.3	3	1.7	178	
50 歳代	196	98.0	4	2.0	200	198	99.0	2	1.0	200	200	100.0	0	0	200	195	97.5	5	2.5	200	
60-64 歳	145	98.6	2	1.4	147	146	99.3	1	0.7	147	147	100.0	0	0	147	147	100.0	0	0	147	
65-69 歳	133	100.0	0	0	133	133	100.0	0	0	133	133	100.0	0	0	133	132	99.3	1	0.8	133	
70-74 歳	145	100.0	0	0	145	145	100.0	0	0	145	145	100.0	0	0	145	144	99.3	1	0.7	145	
75 歳以上	77	100.0	0	0	77	77	100.0	0	0	77	77	100.0	0	0	77	77	100.0	0	0	77	

表 28-2 DSM-IV 依存および乱用基準の割合（全国調査）

	アルコール依存(12か月)		アルコール依存(生涯)		アルコール乱用(12か月)		アルコール乱用(生涯)										
	なし		あり		なし		あり										
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%									
男性																	
20歳代	36	92.3	3	7.7	38	97.4	1	2.6	37	94.9	2	5.1	37	94.9	2	5.1	
30歳代	64	88.9	8	11.1	64	88.9	8	11.1	72	100.0	0	0	60	83.3	12	16.7	
40歳代	67	87.0	10	13.0	70	90.9	7	9.1	73	94.8	4	5.2	60	77.9	17	22.1	
50歳代	71	81.6	16	18.4	79	90.8	8	9.2	85	97.7	2	2.3	71	81.6	16	18.4	
60-64歳	53	94.6	3	5.4	53	94.6	3	5.4	55	98.2	1	1.8	44	86.8	12	21.4	
65-69歳	48	90.6	5	9.4	46	86.8	7	13.2	53	100.0	0	0	46	86.8	7	13.2	
70-74歳	51	96.2	2	3.8	50	94.3	3	5.7	53	100.0	0	0	42	79.2	11	20.8	
75歳以上	54	96.4	2	3.6	55	98.2	1	1.8	55	98.2	1	1.8	51	91.1	5	8.9	
女性																	
20歳代	62	96.9	2	3.1	62	96.9	2	3.1	64	100.0	0	0	63	98.4	1	1.6	
30歳代	90	96.8	3	3.2	89	95.7	4	4.3	90	96.8	3	3.2	85	91.4	8	8.6	
40歳代	105	97.2	3	2.8	105	97.2	3	2.8	106	98.1	2	1.9	99	91.7	9	8.3	
50歳代	104	99.1	1	1.0	105	100.0	0	0	103	98.1	2	1.9	99	94.3	6	5.7	
60-64歳	66	100.0	0	0	66	100.0	0	0	66	100.0	0	0	64	97.0	2	3.0	
65-69歳	56	100.0	0	0	56	100.0	0	0	56	100.0	0	0	55	98.2	1	1.8	
70-74歳	44	100.0	0	0	43	97.7	1	2.3	44	100.0	0	0	44	100.0	0	0	
75歳以上	53	100.0	0	0	53	100.0	0	0	53	100.0	0	0	53	100.0	0	0	

表 29 DSM-IV アルコール依存（現在）

	沿岸部					内陸部					全国				
	なし		あり		合計	なし		あり		合計	なし		あり		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性	418	95.9	18	4.1	436	408	95.8	18	4.2	426	446	90.5	47	9.5	493
女性	566	99.3	4	0.7	570	538	98.5	8	1.5	546	580	98.5	9	1.5	589

表 30 DSM-IV アルコール依存（生涯）

	沿岸部					内陸部					全国				
	なし		あり		合計	なし		あり		合計	なし		あり		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性	420	96.3	16	3.7	436	403	94.6	23	5.4	426	455	92.3	38	7.7	493
女性	569	99.8	1	0.2	570	540	98.9	6	1.1	546	579	98.3	10	1.7	589

表 31 DSM-IV アルコール乱用（現在）

	沿岸部					内陸部					全国				
	なし		あり		合計	なし		あり		合計	なし		あり		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性	431	98.9	5	1.2	436	421	98.8	5	1.2	426	482	97.8	11	2.2	493
女性	570	100.0	0	0	570	544	99.6	2	0.4	546	582	98.8	7	1.2	589

表 32 DSM-IV アルコール乱用（生涯）

	沿岸部					内陸部					全国				
	なし		あり		合計	なし		あり		合計	なし		あり		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性	398	91.3	38	8.7	436	385	90.4	41	9.6	426	411	83.4	82	16.6	493
女性	566	99.3	4	0.7	570	536	98.2	10	1.8	546	562	95.4	27	4.6	589

表 33 喫煙者の割合（岩手・宮城県調査）

	元喫煙者		非喫煙者		喫煙者		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	
男性							
20 歳代	4	8.2	25	51.0	20	40.8	49
30 歳代	15	17.7	30	35.3	40	47.1	85
40 歳代	30	22.9	40	30.5	61	46.6	131
50 歳代	39	25.8	45	29.8	67	44.4	151
60-64 歳	38	26.8	43	30.3	61	43.0	142
65-69 歳	42	30.7	58	42.3	37	27.0	137
70-74 歳	43	36.8	45	38.5	29	24.8	117
75 歳以上	17	34.0	18	36.0	15	30.0	50
全体	228	26.5	304	35.3	330	38.3	862
女性							
20 歳代	9	11.3	55	68.8	16	20.0	80
30 歳代	14	9.0	106	68.4	35	22.6	155
40 歳代	15	8.4	136	76.4	27	15.2	178
50 歳代	12	6.0	159	79.5	29	14.5	200
60-64 歳	2	1.4	131	89.1	14	9.5	147
65-69 歳	5	3.8	118	88.7	10	7.5	133
70-74 歳	9	6.2	133	91.7	3	2.1	145
75 歳以上	0	0	74	96.1	3	3.9	77
全体	66	5.9	912	81.8	137	12.3	1115

表 33 喫煙者の割合（全国調査）

	元喫煙者		非喫煙者		喫煙者		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	
男性							
20 歳代	0	0	29	74.4	10	25.6	39
30 歳代	16	22.2	28	38.9	28	38.9	72
40 歳代	17	22.1	28	36.4	32	41.6	77
50 歳代	31	35.6	21	24.1	35	40.2	87
60-64 歳	19	33.9	18	32.4	19	33.9	56
65-69 歳	24	45.3	17	32.1	12	22.6	53
70-74 歳	29	54.7	15	28.3	9	17.0	53
75 歳以上	31	55.4	18	32.4	7	12.5	56
全体	167	33.9	174	35.3	152	30.8	493
女性							
20 歳代	2	3.1	51	79.7	11	17.2	64
30 歳代	15	16.1	70	75.3	8	8.6	93
40 歳代	12	11.1	80	74.1	16	14.8	108
50 歳代	7	6.7	85	81.0	13	12.4	105
60-64 歳	7	10.6	55	83.3	4	6.1	66
65-69 歳	5	8.9	50	89.3	1	1.8	56
70-74 歳	2	4.6	37	84.1	5	11.4	44
75 歳以上	0	0	50	94.3	3	5.7	53
全体	50	8.5	478	81.2	61	10.4	589

表 34 FTND7 点以上、TDS 5 点以上の割合（岩手・宮城県調査）

	FTND7 点以上		FTND7 点未満		合計	TDS5 点以上		TDS5 点未満		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性										
20 歳代	3	6.4	44	93.6	47	8	16.3	41	83.7	49
30 歳代	9	11.0	73	89.0	82	19	22.4	66	77.7	85
40 歳代	6	4.8	118	95.2	124	26	19.9	105	80.2	131
50 歳代	7	5.0	134	95.0	141	21	13.9	130	86.1	151
60-64 歳	11	8.3	122	91.7	133	31	21.8	111	78.2	142
65-69 歳	4	3.1	124	96.9	128	14	10.2	123	89.8	137
70-74 歳	6	5.5	103	94.5	109	17	14.5	100	85.5	117
75 歳以上	0	0	44	100.0	44	4	8.0	46	92.0	50
全体	46	5.7	762	94.3	808	140	16.2	722	83.8	862
女性										
20 歳代	1	1.4	73	98.7	74	9	11.3	71	88.8	80
30 歳代	2	1.4	143	98.6	145	18	11.6	137	88.4	155
40 歳代	5	2.9	165	97.1	170	17	9.6	161	90.5	178
50 歳代	5	2.6	188	97.4	193	12	6.0	188	94.0	200
60-64 歳	2	1.4	137	98.6	139	5	3.4	142	96.6	147
65-69 歳	0	0	122	100.0	122	5	7.0	128	96.2	133
70-74 歳	0	0	139	100.0	139	4	2.8	141	97.2	145
75 歳以上	0	0	73	100.0	73	1	1.3	76	98.7	77
全体	15	1.4	1040	98.6	1055	71	6.4	1044	93.6	1115

表 34 FTND7 点以上、TDS 5 点以上の割合（全国調査）

	FTND7 点以上		FTND7 点未満		合計	TDS5 点以上		TDS5 点未満		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性										
20 歳代	0	0	36	100.0	36	1	2.8	35	97.2	36
30 歳代	1	1.4	69	98.6	70	14	19.7	57	80.3	71
40 歳代	4	5.3	72	94.7	76	15	19.7	61	80.3	76
50 歳代	3	3.6	80	96.4	83	16	19.1	68	81.0	84
60-64 歳	3	5.6	51	94.4	54	8	14.3	48	85.7	56
65-69 歳	2	3.9	49	96.1	51	5	9.6	47	90.4	52
70-74 歳	0	0	49	100.0	49	2	4.1	47	95.9	49
75 歳以上	0	0	47	100.0	47	3	6.1	46	93.9	49
全体	13	2.8	453	97.2	466	64	13.5	409	86.5	473
女性										
20 歳代	0	0	62	100.0	62	7	11.3	55	88.7	62
30 歳代	0	0	93	100.0	93	3	3.2	90	96.8	93
40 歳代	1	0.9	106	99.1	107	4	3.7	103	96.3	107
50 歳代	0	0	100	100.0	100	6	5.9	96	94.1	102
60-64 歳	1	1.5	65	98.5	66	3	4.6	63	95.5	66
65-69 歳	0	0	55	100.0	55	1	1.8	54	98.2	55
70-74 歳	0	0	42	100.0	42	1	2.4	41	97.6	42
75 歳以上	0	0	50	100.0	50	1	2.0	49	98.0	50
全体	2	0.4	573	99.7	575	26	4.5	551	95.5	577

表 35 喫煙者の割合の比較

	沿岸部							内陸部						
	非喫煙者		元喫煙者		喫煙者		合計	非喫煙者		元喫煙者		喫煙者		合計
	実数	%	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	実数	%	
男性	125	28.7	115	26.4	196	45.0	436	179	42.0	113	26.5	134	31.5	862
女性	436	76.5	36	6.3	98	17.2	570	477	87.4	30	5.5	39	7.1	546
	全国													
	非喫煙者		元喫煙者		喫煙者		合計							
	実数	%	実数	%	実数	%								
男性	174	35.3	167	33.9	152	30.8	493							
女性	478	81.2	50	5.5	61	10.4	589							

男性； $\chi^2 = 32.7, p < 0.0001$ 、女性； $\chi^2 = 33.6, p = < 0.0001$

表 36 FTND7 点以上の割合の比較

	沿岸部					内陸部					全国				
	FNTD7 点以上		FTND7 点未満		合計	FNTD7 点以上		FTND7 点未満		合計	FNTD7 点以上		FTND7 点未満		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性	30	7.4	375	92.6	405	16	4.0	387	96.0	403	13	2.8	453	97.2	466
女性	12	2.2	523	97.8	535	3	0.6	517	99.4	520	2	0.4	573	99.7	575

男性； $\chi^2 = 11.0, p = 0.0040$ 、女性； $\chi^2 = 11.2, p = 0.0037$

表 37 TDS5 点以上の割合

	沿岸部					内陸部					全国				
	TDS 5 点以上		TDS 5 点未満		合計	TDS 5 点以上		TDS 5 点未満		合計	TDS 5 点以上		TDS 5 点未満		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性	76	17.4	360	82.6	436	64	15.0	362	85.0	426	64	13.5	409	86.5	473
女性	51	9.0	519	91.1	570	20	3.7	526	96.3	546	26	4.5	551	95.5	577

男性 ; $\chi^2 = 3.1, p = 0.210$ 、女性 ; $\chi^2 = 15.2, p = 0.0005$

表 38 IAT の分布（岩手・宮城県調査）

	40 点以上		40 点未満		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
20 歳代	13	27.1	35	72.9	48
30 歳代	8	9.6	75	90.4	83
40 歳代	2	1.6	123	98.4	125
50 歳代	1	0.7	142	99.3	143
60-64 歳	1	0.7	138	99.3	139
65-69 歳	1	0.8	129	99.2	130
70-74 歳	0	0	110	100.0	110
75 歳以上	0	0	44	100.0	44
全体	26	3.2	796	96.8	822
女性					
20 歳代	8	10.8	66	89.2	74
30 歳代	4	2.7	145	97.3	149
40 歳代	1	0.6	169	99.4	170
50 歳代	1	0.5	194	99.5	195
60-64 歳	0	0	139	100.0	139
65-69 歳	0	0	124	100.0	124
70-74 歳	0	0	142	100.0	142
75 歳以上	0	0	73	100.0	73
全体	14	1.3	1052	98.7	1066

表 38 IAT の分布 (全国調査)

	40 点以上		40 点未満		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
20 歳代	11	31.4	24	68.6	35
30 歳代	6	8.5	65	91.6	71
40 歳代	5	6.7	70	93.3	75
50 歳代	0	0	83	100.0	83
60-64 歳	0	0	54	100.0	54
65-69 歳	0	0	52	100.0	52
70-74 歳	0	0	48	100.0	48
75 歳以上	0	0	49	100.0	49
全体	22	4.7	445	95.3	467
女性					
20 歳代	7	11.3	55	88.7	62
30 歳代	3	3.3	89	96.7	92
40 歳代	4	3.8	102	96.2	106
50 歳代	0	0	102	100.0	102
60-64 歳	0	0	64	100.0	64
65-69 歳	0	0	55	100.0	55
70-74 歳	0	0	42	100.0	42
75 歳以上	0	0	49	100.0	49
全体	14	2.5	558	97.6	572

表 39 IAT 40 点以上の割合の比較

	沿岸部					内陸部					全国				
	IAT40 点以上		IAT40 点未満		合計	IAT40 点以上		IAT40 点未満		合計	IAT40 点以上		IAT40 点未満		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性	5	1.2	410	98.8	415	21	5.2	386	94.8	407	22	4.7	445	95.3	467
女性	3	0.6	538	99.5	541	11	2.1	514	97.9	525	14	2.5	558	97.6	572

男性 ; $\chi^2 = 11.0$, $p = 0.0041$ 、女性 ; $\chi^2 = 6.5$, $p = 0.0386$

表 40 SOGS の分布

	岩手・宮城県調査					全国調査				
	5点以上		5点未満			5点以上		5点未満		
	実数	%	実数	%	合計	実数	%	実数	%	合計
男性										
20歳代	8	16.3	41	83.7	49	4	11.1	32	88.9	36
30歳代	14	16.5	71	83.5	85	8	11.3	63	88.7	71
40歳代	22	16.8	109	83.2	131	13	17.1	63	82.9	76
50歳代	19	12.6	132	87.4	151	13	15.5	71	84.5	84
60-64歳	15	10.6	127	89.4	142	4	7.1	52	92.9	56
65-69歳	13	9.5	124	90.5	137	8	15.1	45	84.9	53
70-74歳	8	6.8	109	93.2	117	1	2.0	48	98.0	49
75歳以上	2	4.0	48	96.0	50	2	3.9	50	96.2	52
全体	101	11.7	761	88.3	862	53	11.1	424	88.9	477
女性										
20歳代	3	3.8	77	96.3	80	5	7.9	58	92.1	63
30歳代	6	3.9	149	96.1	155	3	3.2	90	96.8	93
40歳代	5	2.8	173	97.2	178	1	0.9	106	99.1	107
50歳代	6	3.0	194	97.0	200	0	0	103	100.0	103
60-64歳	1	0.7	146	99.3	147	1	1.5	65	98.5	66
65-69歳	1	0.8	132	99.3	133	0	0	55	100.0	55
70-74歳	1	0.7	144	99.3	145	0	0	43	100.0	43
75歳以上	0	0	77	100.0	77	0	0	50	100.0	50
全体	23	2.1	1092	97.9	1115	10	1.7	570	98.3	580

表 41 SOGS 5 点以上の割合の比較

	沿岸部					内陸部					全国				
	SOGS 5 点以上		SOGS 5 点未満		合計	SOGS 5 点以上		SOGS 5 点未満		合計	SOGS 5 点以上		SOGS 5 点未満		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性	56	12.8	380	87.2	436	45	10.6	381	89.4	426	53	11.1	424	88.9	477
女性	11	1.9	559	98.1	570	12	2.2	534	97.8	546	10	1.7	570	98.3	580

男性； $\chi^2 = 1.21$, $p = 0.546$ 、女性； $\chi^2 = 0.33$, $p = 0.847$

表 42 睡眠薬使用の頻度（岩手・宮城県調査）

	なし		月 1 回以下		週 1 回以下		週 1~4 回		ほぼ毎日		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
20 歳代	44	93.6	2	4.3	0	0	0	0	1	2.1	47
30 歳代	80	96.4	1	1.2	1	1.2	0	0	1	1.2	83
40 歳代	115	92.0	1	0.8	1	0.8	1	0.8	7	5.6	125
50 歳代	131	93.6	3	2.1	0	0	0	0	6	4.3	140
60-64 歳	130	95.6	1	0.7	2	1.5	0	0	3	2.2	136
65-69 歳	119	93.0	3	2.3	1	0.8	1	0.8	4	3.1	128
70-74 歳	88	84.6	2	1.9	2	1.9	1	1.0	11	10.6	104
75 歳以上	36	81.8	1	2.3	0	0	3	6.8	4	9.1	44
女性											
20 歳代	70	94.6	2	2.7	0	0	0	0	2	2.7	74
30 歳代	134	91.8	2	1.4	3	2.1	0	0	7	8.4	146
40 歳代	149	88.7	7	4.2	3	1.8	3	1.8	6	3.6	168
50 歳代	163	86.2	6	3.2	2	1.1	1	0.5	17	9.0	189
60-64 歳	117	85.4	6	4.4	6	4.4	1	0.7	7	5.1	137
65-69 歳	108	87.8	2	1.6	2	1.6	0	0	11	8.9	123
70-74 歳	100	71.4	2	1.4	5	3.6	10	7.1	23	16.4	140
75 歳以上	53	73.6	4	5.6	2	2.8	3	4.2	10	13.9	72

表 42 睡眠薬使用の頻度（全国調査）

	なし		月 1 回以下		週 1 回以下		週 1~4 回		ほぼ毎日		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
20 歳代	35	97.2	1	2.8	0	0	0	0	0	0	36
30 歳代	67	94.4	2	2.8	1	1.1	0	0	1	1.4	71
40 歳代	70	93.3	0	0	1	1.3	1	1.3	3	4.0	75
50 歳代	80	96.4	1	1.2	1	1.2	1	1.2	0	0	83
60-64 歳	55	98.2	0	0	0	0	0	0	1	1.8	56
65-69 歳	51	96.2	1	1.9	0	0	0	0	1	1.9	53
70-74 歳	47	95.9	0	0	0	0	0	0	2	4.1	49
75 歳以上	44	89.8	1	2.0	0	0	1	2.0	3	6.1	49
女性											
20 歳代	61	98.4	0	0	0	0	0	0	1	1.6	62
30 歳代	87	93.6	1	1.1	1	1.1	0	0	4	4.3	93
40 歳代	101	95.3	2	1.9	0	0	0	0	3	2.8	106
50 歳代	96	93.2	3	2.9	0	0	1	1.0	3	2.9	103
60-64 歳	58	87.9	1	1.5	5	7.6	0	0	2	3.0	66
65-69 歳	45	81.8	3	5.5	2	3.6	0	0	5	9.1	55
70-74 歳	30	73.2	3	7.3	3	7.3	0	0	5	12.2	41
75 歳以上	38	76.0	4	23.5	1	2.0	2	4.0	5	10.0	50

表 43 睡眠薬使用頻度の比較（男女別）

	沿岸部											内陸部											
	なし		月1回以下		週1回以下		週1~4回		ほぼ毎日			計	なし		月1回以下		週1回以下		週1~4回		ほぼ毎日		計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数		%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		
男性	366	90.2	9	2.2	4	1.0	4	1.0	23	5.7	406	377	94.0	5	1.3	3	0.8	2	0.5	14	3.5	401	
女性	433	81.5	16	3.0	14	2.6	12	2.3	56	10.6	531	461	89.0	15	2.9	9	1.7	6	1.2	27	5.2	518	
	全国																						
	なし		月1回以下		週1回以下		週1~4回		ほぼ毎日			計											
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数		%										
男性	449	95.1	6	1.3	3	0.6	3	0.6	11	2.3	472												
女性	516	89.6	17	3.0	12	2.1	3	0.5	28	4.9	576												

男性； $\chi^2 = 9.90$, $p = 0.2724$ 、女性； $\chi^2 = 25.93$, $p = 0.0011$

表 44 BDEPQ の分布

	岩手県・宮城県調査					全国調査				
	23点未満		23点以上		合計	23点未満		23点以上		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性										
20歳代	46	97.9	1	2.1	47	36	100.0	0	0	36
30歳代	80	97.6	2	2.4	82	69	98.6	1	1.4	70
40歳代	118	96.7	4	3.3	122	73	98.7	1	1.4	74
50歳代	137	99.3	1	0.7	138	82	100.0	0	0	82
60-64歳	129	100.0	0	0	129	55	100.0	0	0	55
65-69歳	125	99.2	1	0.8	126	53	100.0	0	0	53
70-74歳	98	97.0	3	3.0	101	47	100.0	0	0	47
75歳以上	38	95.0	2	5.0	40	44	100.0	0	0	44
女性										
20歳代	70	97.2	2	2.8	72	60	98.4	1	1.6	61
30歳代	140	97.2	4	2.8	144	88	97.8	2	2.2	90
40歳代	157	96.9	5	3.1	162	102	97.1	3	2.9	105
50歳代	170	96.1	7	4.0	177	101	100.0	0	0	101
60-64歳	125	97.7	3	2.3	128	62	96.9	2	3.1	64
65-69歳	112	98.3	2	1.8	114	47	95.9	2	4.1	49
70-74歳	102	90.3	11	9.7	113	37	100.0	0	0	37
75歳以上	61	93.9	4	6.2	65	44	97.8	1	2.2	45

表 45 BDEPQ 23 点以上の割合の比較

	沿岸部					内陸部					全国				
	BDEPQ 23 点未 満		BDEPQ 23 点以 上		合計	BDEPQ 23 点未 満		BDEPQ 23 点以上		合計	BDEPQ 23 点未 満		BDEPQ 23 点以 上		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性	383	98.2	7	1.8	390	388	98.2	7	1.8	395	459	99.6	2	0.4	461
女性	453	94.6	26	5.4	479	484	97.6	12	2.4	496	541	98.0	11	2.0	552

男性； $\chi^2 = 4.75$, $p = 0.093$ 、女性； $\chi^2 = 14.66$, $p = 0.0007$

表 46 AUDIT と他のスクリーニングテストとのクロス集計
ニコチン依存 (FTND)

	岩手宮城県調査					全国調査				
	FTND7 点以上		FTND7 点未満		合計	FTND7 点以上		FTND7 点未満		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性										
AUDIT8 点未満	24	4.0	571	96.0	595	5	1.5	336	98.5	341
AUDIT8 点以上	19	10.9	156	89.1	175	8	6.8	109	93.2	117
女性										
AUDIT8 点未満	11	1.2	934	98.8	945	2	0.4	545	99.6	547
AUDIT8 点以上	3	9.1	30	90.9	33	0	0	21	100.0	21

岩手宮城県調査：男性； $\chi^2 = 11.9$, $p = 0.0005$ 、女性； $\chi^2 = 14.2$, $p = 0.0002$ 、全国調査：男性； $\chi^2 = 9.1$, $p = 0.0025$ 、女性； $\chi^2 = 0.08$, $p = 0.781$

表 47 ニコチン依存 (TDS)

	岩手宮城県調査					全国調査				
	TDS5 点以上		TDS5 点未満		合計	TDS5 点以上		TDS5 点未満		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性										
AUDIT8 点未満	87	14.5	515	85.6	602	38	11.1	306	89.0	344
AUDIT8 点以上	46	26.1	130	73.9	176	25	21.2	93	78.8	118
女性										
AUDIT8 点未満	62	6.5	892	93.5	954	25	4.6	523	95.4	548
AUDIT8 点以上	5	14.7	29	85.3	34	1	4.8	20	95.2	21

岩手宮城県調査：男性； $\chi^2 = 13.1, p = 0.0003$ 、女性； $\chi^2 = 3.5, p = 0.0614$ 、全国調査：男性； $\chi^2 = 7.7, p = 0.0056$ 、女性； $\chi^2 = 0.0, p = 0.97$

表 48 インターネット依存

	岩手宮城県調査					全国調査				
	IAT 40 点以上		IAT 40 点未満		合計	IAT 40 点以上		IAT 40 点未満		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性										
AUDIT8 点未満	21	3.5	580	96.5	601	19	5.6	319	94.4	338
AUDIT8 点以上	4	2.3	172	97.7	176	3	2.5	115	97.5	118
女性										
AUDIT8 点未満	14	1.5	936	98.5	950	13	2.4	530	97.6	543
AUDIT8 点以上	0	0	34	100.0	34	1	4.6	21	95.5	22

表 49 ギャンブル依存

	岩手宮城県調査					全国調査				
	SOGS 5 点以上		SOGS 5 点未満		合計	SOGS 5 点以上		SOGS 5 点未満		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性										
AUDIT8 点未満	70	11.6	532	88.4	602	36	10.3	312	89.7	348
AUDIT8 点以上	27	15.3	149	84.7	176	17	14.4	101	85.6	118
女性										
AUDIT8 点未満	21	2.2	933	97.8	954	10	1.8	539	98.2	549
AUDIT8 点以上	2	5.9	32	94.1	34	0	0	22	100.0	22

表 50 睡眠薬の使用頻度

岩手宮城県調査											
	なし		月 1 回以下		週 1 回以下		週 1~4 回		ほぼ毎日		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
AUDIT8 点未満	551	92.5	8	1.3	3	0.5	6	1.0	28	4.7	596
AUDIT8 点以上	156	90.7	5	2.9	4	2.3	0	0	7	4.1	172
女性											
AUDIT8 点未満	807	86.1	23	2.5	20	2.1	12	1.3	75	8.0	937
AUDIT8 点以上	28	82.4	4	11.8	1	2.9	1	2.9	0	0	34
全国調査											
	なし		月 1 回以下		週 1 回以下		週 1~4 回		ほぼ毎日		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
AUDIT8 点未満	329	95.9	3	0.9	2	0.6	1	0.3	8	2.3	343
AUDIT8 点以上	112	94.9	2	1.7	1	0.9	1	0.9	2	1.7	118
女性											
AUDIT8 点未満	490	89.4	16	2.9	12	2.2	3	0.6	27	4.9	548
AUDIT8 点以上	19	90.5	1	4.8	0	0	0	0	1	4.8	21

岩手宮城県調査：男性； $\chi^2 = 8.7$, $p = 0.0695$ 、女性； $\chi^2 = 13.8$, $p = 0.0080$ 、全国調査：男性； $\chi^2 = 1.4$, $p = 0.84$ 、女性； $\chi^2 = 0.8$, $p = 0.94$

表 51 寝酒の頻度

岩手宮城県調査											
	毎日		週 3~6 日		月 2~4 日		月 1 日以下		なし		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
AUDIT8 点未満	19	3.3	19	3.3	10	1.8	33	5.8	492	85.9	573
AUDIT8 点以上	29	17.5	11	6.6	10	6.0	15	9.0	101	60.8	166
女性											
AUDIT8 点未満	9	1.0	10	1.1	21	2.4	43	4.9	802	90.6	885
AUDIT8 点以上	5	15.2	5	15.2	3	9.1	5	15.2	15	45.5	33
全国調査											
	毎日		週 3~6 日		月 2~4 日		月 1 日以下		なし		合計
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
AUDIT8 点未満	8	2.4	7	2.1	9	2.7	15	4.4	300	88.5	339
AUDIT8 点以上	20	17.0	9	7.6	4	3.4	10	8.5	75	63.6	118
女性											
AUDIT8 点未満	6	1.1	2	0.4	7	1.3	19	3.6	499	93.6	533
AUDIT8 点以上	5	23.8	0	0	0	0	2	9.5	14	66.7	21

岩手宮城県調査：男性； $\chi^2 = 64.1, p < 0.0001$ 、女性； $\chi^2 = 99.2, p = < 0.0001$ 、全国調査：男性； $\chi^2 = 47.6, p < 0.0001$ 、女性； $\chi^2 = 56.2, p = < 0.0001$

表 52 ベンゾジアゼピン依存

	岩手宮城県調査					全国調査				
	BDEPQ 23 点未満		BDEPQ 23 点以上		合計	BDEPQ 23 点未満		BDEPQ 23 点以上		合計
	実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
男性										
AUDIT8 点未満	570	97.8	13	2.2	583	334	99.4	2	0.6	336
AUDIT8 点以上	166	99.4	1	0.6	167	116	100.0	0	0	116
女性										
AUDIT8 点未満	849	96.0	35	4.0	884	514	98.1	10	1.9	524
AUDIT8 点以上	29	96.7	1	3.3	30	19	95.0	1	5.0	20

被災とスクリーニングテストの相関

表 53-1 1 回の飲酒量（飲酒者のみ）

	1 回の飲酒量				合計
	6 単位未満		6 単位以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	357	82.1	78	17.9	435
損壊なし	158	85.0	28	15.1	186
女性					
損壊あり	294	91.3	28	8.7	322
損壊なし	133	91.1	13	8.9	146

表 53-2

	1 回の飲酒量				合計
	6 単位未満		6 単位以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	268	85.6	45	14.4	313
仮設住宅	240	80.8	57	19.2	297
女性					
震災前と同じ	236	92.2	20	7.8	256
仮設住宅	182	89.7	21	10.3	203

表 53-3 家族・親戚の犠牲者の有無

	1 回の飲酒量				合計
	6 単位未満		6 単位以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	146	83.9	28	16.1	174
犠牲者なし	369	82.6	78	17.5	447
女性					
犠牲者あり	114	94.2	7	5.8	121
犠牲者なし	313	90.2	34	9.8	347

表 53-4 仕事の変化

	1 回の飲酒量				合計
	6 単位未満		6 単位以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	29	70.7	12	29.3	41
関係なく退職	29	78.4	8	21.6	37
変化なし	144	91.7	13	8.3	157
女性					
震災で失業	28	93.3	2	6.7	30
関係なく退職	9	90.0	1	10.0	10
変化なし	136	94.4	8	5.6	144

男性 ; $\chi^2 = 14.0, p = 0.0009$

表 54-1 多量飲酒頻度と家屋損壊の有無

	多量飲酒の頻度										合計
	なし		月1回未満		月1回		週1回		ほぼ毎日		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
損壊あり	379	67.7	90	16.1	46	8.2	21	3.8	24	4.3	560
損壊なし	147	62.0	62	26.2	9	3.8	9	3.8	10	4.2	237
女性											
損壊あり	672	92.7	28	3.9	13	1.8	8	1.1	4	0.6	725
損壊なし	252	86.6	31	10.7	3	1.0	2	0.7	3	1.0	291

男性； $\chi^2 = 14.4$, $p = 0.0061$ 、女性； $\chi^2 = 19.2$, $p = 0.0007$

表 54-2 住居との相関

	多量飲酒の頻度										合計
	なし		月1回未満		月1回		週1回		ほぼ毎日		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
震災前と同じ	245	64.0	85	22.2	24	6.3	17	4.4	12	3.1	383
仮設住宅	277	68.6	64	15.8	28	6.9	13	3.2	22	5.5	404
女性											
震災前と同じ	451	89.7	35	7.0	8	1.6	4	0.8	5	1.0	503
仮設住宅	464	92.6	21	4.2	8	1.6	6	1.2	2	0.4	501

表 54-3 家族・親戚の犠牲者の有無

	多量飲酒の頻度										合計
	なし		月1回未満		月1回		週1回		ほぼ毎日		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
犠牲者あり	152	69.1	38	17.3	15	6.8	4	1.8	11	5.0	220
犠牲者なし	374	64.8	114	19.8	40	6.9	26	4.5	23	4.0	577
女性											
犠牲者あり	290	94.2	11	3.6	4	1.3	3	1.0	0	0	308
犠牲者なし	634	89.6	48	6.8	12	1.7	7	1.0	7	1.0	708

表 54-4 仕事の変化

	多量飲酒の頻度										合計
	なし		月1回未満		月1回		週1回		ほぼ毎日		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
震災で失業	33	63.5	9	17.3	5	9.6	1	1.9	4	7.7	52
関係なく退職	40	75.5	3	5.7	5	9.4	2	3.8	3	5.7	53
変化なし	180	76.0	29	12.2	13	5.5	7	3.0	8	3.4	237
女性											
震災で失業	67	89.3	3	4.0	2	2.7	3	4.0	0	0	75
関係なく退職	31	69.9	1	3.1	0	0	0	0	0	0	32
変化なし	440	96.5	7	1.5	1	0.2	5	1.1	3	0.7	456

表 55 - 1 AUDIT 点数
家屋損壊の有無との関連

	AUDIT				合計
	8 点未満		8 点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	422	77.9	120	22.1	542
損壊なし	180	76.3	56	23.7	236
女性					
損壊あり	680	96.9	22	3.1	702
損壊なし	274	95.8	12	4.2	286

表 55 - 2 住居との関連

	AUDIT				合計
	8 点未満		8 点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	297	77.8	85	22.3	382
仮設住宅	300	77.7	86	22.3	386
女性					
震災前と同じ	474	96.2	19	3.9	493
仮設住宅	468	96.9	15	3.1	483

表 55 - 3 家族・親戚の犠牲者の有無

AUDIT					
	8 点未満		8 点以上		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	160	76.9	48	23.1	208
犠牲者なし	442	77.5	128	22.5	570
女性					
犠牲者あり	291	97.3	8	2.7	299
犠牲者なし	663	96.2	26	3.8	689

表 55 - 4 仕事の変化

AUDIT					
	8 点未満		8 点以上		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	32	69.6	14	30.4	46
関係なく退職	40	76.9	12	23.1	52
変化なし	196	84.9	35	15.2	231
女性					
震災で失業	67	94.4	4	5.6	71
関係なく退職	27	100.0	0	0	27
変化なし	433	97.7	10	2.3	443

男性 ; $\chi^2 = 6.8, p = 0.0338$

表 56 - 1 家屋損壊の有無との関連

	CAGE				合計
	2点未満		2点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	539	92.3	45	7.7	584
損壊なし	220	92.1	19	8.0	239
女性					
損壊あり	762	98.2	14	1.8	776
損壊なし	291	99.0	3	1.0	294

表 56 - 2 住居との関連

	CAGE				合計
	2点未満		2点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	358	91.6	33	8.4	391
仮設住宅	391	92.7	31	7.4	422
女性					
震災前と同じ	506	98.3	9	1.8	515
仮設住宅	535	98.5	8	1.5	543

表 56 - 3 家族・親戚の犠牲者の有無

	CAGE				合計
	2点未満		2点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	212	91.8	19	8.2	231
犠牲者なし	547	92.4	45	7.6	592
女性					
犠牲者あり	337	98.8	4	1.2	341
犠牲者なし	716	98.2	13	1.8	729

表 56 - 4 仕事の変化

	CAGE				合計
	2点未満		2点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	54	94.7	3	5.3	57
関係なく退職	55	96.5	2	3.5	57
変化なし	222	89.5	26	10.5	248
女性					
震災で失業	85	98.8	1	1.2	86
関係なく退職	40	100.0	0	0	40
変化なし	477	99.2	4	0.8	481

DSM-IV 基準との関連

表 57 - 1 家屋損壊の有無との関連

	DSM-IV アルコール依存（現在）				合計
	該当せず		該当する		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	584	95.6	27	4.4	611
損壊なし	242	96.4	9	3.6	251
女性					
損壊あり	800	98.9	9	1.1	809
損壊なし	303	99.0	3	1.0	306

表 57 - 2 住居との関連

	DSM-IV アルコール依存（現在）				合計
	該当せず		該当する		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	393	96.1	16	3.9	409
仮設住宅	422	95.5	20	4.5	442
女性					
震災前と同じ	521	98.5	8	1.5	529
仮設住宅	569	99.3	4	0.7	573

表 57 - 3 家族・親戚の犠牲者の有無

DSM-IV アルコール依存（現在）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	229	95.0	12	5.0	241
犠牲者なし	597	96.1	24	3.9	621
女性					
犠牲者あり	347	98.9	4	1.1	351
犠牲者なし	756	99.0	8	1.1	764

表 57 - 4 仕事の変化

DSM-IV アルコール依存（現在）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	56	93.3	4	6.7	60
関係なく退職	56	96.6	2	3.5	58
変化なし	256	97.0	8	3.0	264
女性					
震災で失業	90	98.9	1	1.1	91
関係なく退職	41	100.0	0	0	41
変化なし	502	99.4	3	0.6	505

表 57 - 5 家屋損壊の有無との関連

DSM-IV アルコール依存（過去）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	584	95.6	27	4.4	611
損壊なし	239	95.2	12	4.8	251
女性					
損壊あり	805	99.5	4	0.5	809
損壊なし	303	99.0	3	1.0	306

表 57 - 6 住居との関連

DSM-IV アルコール依存（過去）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	386	94.4	23	5.6	409
仮設住宅	426	96.4	16	3.6	442
女性					
震災前と同じ	524	99.1	5	1.0	529
仮設住宅	571	99.7	2	0.4	573

表 57 - 7 家族・親戚の犠牲者の有無

DSM-IV アルコール依存（過去）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	228	94.6	13	5.4	241
犠牲者なし	595	95.8	26	4.2	621
女性					
犠牲者あり	351	100.0	0	0	351
犠牲者なし	757	99.1	7	0.9	764

表 57 - 8 仕事の変化

DSM-IV アルコール依存（過去）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	57	95.0	3	5.0	60
関係なく退職	56	96.6	2	3.5	58
変化なし	254	96.2	10	3.8	264
女性					
震災で失業	91	100.0	0	0	91
関係なく退職	40	97.6	1	2.4	41
変化なし	503	99.6	2	0.4	505

表 57 - 9 家屋損壊の有無との関連

DSM-IV アルコール乱用（現在）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	606	99.2	5	0.8	611
損壊なし	246	98.0	5	2.0	251
女性					
損壊あり	808	99.9	1	0.1	809
損壊なし	305	99.7	1	0.3	306

表 57 - 10 住居との関連

DSM-IV アルコール乱用（現在）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	404	98.8	5	1.2	409
仮設住宅	437	98.9	5	1.1	442
女性					
震災前と同じ	527	99.6	2	0.4	529
仮設住宅	573	100.0	0	0	573

表 57 - 11 家族・親戚の犠牲者の有無

DSM-IV アルコール乱用（現在）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	237	98.3	4	1.7	241
犠牲者なし	615	99.0	6	1.0	621
女性					
犠牲者あり	351	100.0	0	0	351
犠牲者なし	762	99.7	2	0.3	764

表 57 - 12 仕事の変化

DSM-IV アルコール乱用（現在）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	60	100.0	0	0	60
関係なく退職	56	96.6	2	3.5	58
変化なし	261	98.9	3	1.1	264
女性					
震災で失業	91	100.0	0	0	91
関係なく退職	41	100.0	0	0	41
変化なし	505	100.0	0	0	505

表 57 - 13 家屋損壊の有無との関連

DSM-IV アルコール乱用（過去）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	555	90.8	56	9.2	611
損壊なし	228	90.8	23	9.2	251
女性					
損壊あり	798	98.6	11	1.4	809
損壊なし	303	99.0	3	1.0	306

表 57 - 14 住居との関連

DSM-IV アルコール乱用（過去）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	370	90.5	39	9.5	409
仮設住宅	402	91.0	40	9.1	442
女性					
震災前と同じ	519	98.1	10	1.9	529
仮設住宅	569	99.3	4	0.7	573

表 57 - 15 家族・親戚の犠牲者の有無

DSM-IV アルコール乱用（過去）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	226	93.8	15	6.2	241
犠牲者なし	557	89.7	64	10.3	621
女性					
犠牲者あり	349	99.4	2	0.6	351
犠牲者なし	752	98.4	12	1.6	764

表 57 - 16 仕事の変化

DSM-IV アルコール乱用（過去）					
	該当せず		該当する		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	53	88.3	7	11.7	60
関係なく退職	52	89.7	6	10.3	58
変化なし	240	90.9	24	9.1	264
女性					
震災で失業	90	98.9	1	1.1	91
関係なく退職	40	97.6	1	2.4	41
変化なし	501	99.2	4	0.8	505

表 58-1 睡眠薬使用頻度と家屋損壊の有無

	睡眠薬使用の頻度										合計
	なし		月 1 回以下		週 1 回以下		週 1~4 回		ほぼ毎日		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
損壊あり	517	90.9	12	2.1	4	0.7	6	1.1	30	5.3	569
損壊なし	226	95.0	2	0.8	3	1.3	0	0	7	2.9	238
女性											
損壊あり	637	71.3	22	2.9	18	2.4	15	2.0	67	8.8	759
損壊なし	257	88.6	9	3.1	5	1.7	3	1.0	16	5.5	290

表 58-2 住居との相関

	睡眠薬使用の頻度										合計
	なし		月 1 回以下		週 1 回以下		週 1~4 回		ほぼ毎日		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
震災前と同じ	360	93.8	5	1.3	3	0.8	1	0.3	15	3.9	384
仮設住宅	373	90.3	9	2.2	4	1.0	5	1.2	22	5.3	413
女性											
震災前と同じ	448	88.7	15	3.0	10	2.0	6	1.2	26	5.2	505
仮設住宅	435	81.8	16	3.0	13	2.4	12	2.3	56	10.5	532

男性 ; $\chi^2 = 4.5, p = 0.3476$ 、女性 ; $\chi^2 = 12.9, p = 0.0118$

表 58-3 家族・親戚の犠牲者の有無

	睡眠薬使用の頻度										合計
	なし		月1回以下		週1回以下		週1~4回		ほぼ毎日		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
犠牲者あり	201	88.9	8	3.5	1	0.4	5	2.2	11	4.9	226
犠牲者なし	542	93.3	6	1.0	6	1.0	1	0.2	26	4.5	581
女性											
犠牲者あり	278	83.0	13	3.9	6	1.8	7	2.1	31	9.3	335
犠牲者なし	616	86.3	18	2.5	17	2.4	11	1.5	52	7.3	714

表 58-4 仕事の変化

	睡眠薬使用の頻度										合計
	なし		月1回以下		週1回以下		週1~4回		ほぼ毎日		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
男性											
震災で失業	48	87.3	4	7.3	0	0	0	0	3	5.5	55
関係なく退職	54	94.7	0	0	0	0	1	1.8	2	6.7	57
変化なし	206	85.8	5	2.1	2	0.8	2	0.8	25	10.4	240
女性											
震災で失業	67	81.7	3	3.7	4	4.9	3	3.7	5	6.1	82
関係なく退職	37	92.5	0	0	0	0	1	2.5	2	5.0	40
変化なし	374	79.7	14	3.0	13	2.8	8	1.7	60	12.8	469

表 59 - 1 家屋損壊の有無と FTND 点数の関連

	FTND				合計
	7 点以上		7 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	34	5.9	538	94.1	572
損壊なし	12	5.1	224	94.9	236
女性					
損壊あり	14	1.8	751	98.2	765
損壊なし	1	0.3	289	99.7	290

表 59 - 2 住居との関連

	FTND				合計
	7 点以上		7 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	16	4.1	371	95.9	387
仮設住宅	30	7.3	381	92.7	411
女性					
震災前と同じ	3	0.6	503	99.4	506
仮設住宅	12	2.2	525	97.8	537

男性 ; $\chi^2 = 3.7$, $p = 0.0552$, 女性 ; $\chi^2 = 5.0$, $p = 0.0260$

表 59 - 3 家族・親戚の犠牲者の有無

	FTND				合計
	7 点以上		7 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	15	6.6	211	93.4	226
犠牲者なし	31	5.3	551	94.7	582
女性					
犠牲者あり	2	0.6	336	99.4	338
犠牲者なし	13	1.8	704	98.2	717

表 59 - 4 仕事の変化

	FTND				合計
	7 点以上		7 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	3	5.4	53	94.6	56
関係なく退職	5	8.9	51	91.1	56
変化なし	12	4.9	232	95.1	244
女性					
震災で失業	3	3.6	81	96.4	84
関係なく退職	0	0	40	100.0	40
変化なし	6	1.3	467	98.7	473

男性 ; $\chi^2 = 6.8, p = 0.0338$

表 60 - 1 家屋損壊の有無と TDS 点数の関連

	TDS				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	94	15.4	517	84.6	611
損壊なし	46	18.3	205	81.7	251
女性					
損壊あり	61	7.5	748	92.5	809
損壊なし	10	3.3	296	96.7	306

男性 ; $\chi^2 = 1.1, p = 0.2873$, 女性 ; $\chi^2 = 6.8, p = 0.0091$

表 60 - 2 住居との関連

	TDS				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	60	14.7	349	85.3	409
仮設住宅	79	17.9	363	82.1	442
女性					
震災前と同じ	19	3.6	510	96.4	529
仮設住宅	51	8.9	522	91.1	573

男性 ; $\chi^2 = 1.6, p = 0.2066$, 女性 ; $\chi^2 = 13.0, p = 0.0003$

表 60 - 3 家族・親戚の犠牲者の有無

	TDS				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	45	18.7	196	81.3	241
犠牲者なし	95	15.3	526	84.7	621
女性					
犠牲者あり	26	7.4	325	92.6	351
犠牲者なし	45	5.9	719	94.1	764

表 60 - 4 仕事の変化

	TDS				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	5	8.3	55	91.7	60
関係なく退職	7	12.1	51	87.9	58
変化なし	33	12.5	231	87.5	264
女性					
震災で失業	7	7.7	84	92.3	91
関係なく退職	5	12.2	36	87.8	41
変化なし	24	4.8	481	95.3	505

男性 ; $\chi^2 = 6.8, p = 0.0338$

IAT 点数

表 61 - 1 家屋損壊の有無との関連

	IAT				合計
	40 点以上		40 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	14	2.4	569	97.6	583
損壊なし	12	5.0	227	95.0	239
女性					
損壊あり	7	0.9	767	99.1	774
損壊なし	7	2.4	285	97.6	292
男性 ; $\chi^2 = 3.8$, $p = 0.0513$, 女性 ; $\chi^2 = 3.6$, $p = 0.0562$					

表 61 - 2 住居との関連

	IAT				合計
	40 点以上		40 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	20	5.1	371	94.9	391
仮設住宅	5	1.2	416	98.8	421
女性					
震災前と同じ	9	1.8	503	98.2	512
仮設住宅	5	0.9	537	99.1	542
男性 ; $\chi^2 = 10.5$, $p = 0.0012$, 女性 ; $\chi^2 = 1.4$, $p = 0.2364$					

表 61 - 3 家族・親戚の犠牲者の有無

	IAT				合計
	40 点以上		40 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	4	1.7	226	98.3	230
犠牲者なし	22	3.7	570	96.3	592
女性					
犠牲者あり	1	0.3	339	99.7	340
犠牲者なし	13	1.8	713	98.2	726

表 61 - 4 仕事の変化

	IAT				合計
	40 点以上		40 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	2	3.5	55	96.5	57
関係なく退職	0	0	57	100.0	57
変化なし	1	0.4	247	99.6	248
女性					
震災で失業	0	0	86	100.0	86
関係なく退職	2	5.0	38	95.0	40
変化なし	2	0.4	475	99.6	477

男性 ; $\chi^2 = 6.0, p = 0.0497$ 、女性 ; $\chi^2 = 12.4, p = 0.0020$

SOGs 点数

表 62 - 1 家屋損壊の有無との関連

	SOGs				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	73	12.0	538	88.1	611
損壊なし	28	11.2	223	88.8	251
女性					
損壊あり	18	2.2	791	97.8	809
損壊なし	5	1.6	301	98.4	306

表 62 - 2 住居との関連

	SOGs				合計
	5 点以上		5 点未満		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	44	10.8	365	89.2	409
仮設住宅	57	12.9	385	87.1	442
女性					
震災前と同じ	9	1.7	520	98.3	529
仮設住宅	13	2.3	560	97.7	573

表 62 - 3 家族・親戚の犠牲者の有無

SOGS					
	5 点以上		5 点未満		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	30	12.5	211	87.6	241
犠牲者なし	71	11.4	550	88.6	621
女性					
犠牲者あり	2	0.6	349	99.4	351
犠牲者なし	21	2.8	743	97.3	764

男性； $\chi^2 = 0.2, p = 0.6775$ 、女性； $\chi^2 = 5.7, p = 0.0174$

表 62 - 4 仕事の変化

SOGS					
	5 点以上		5 点未満		合計
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	6	10.0	54	90.0	60
関係なく退職	5	8.6	53	91.4	58
変化なし	27	10.2	237	89.8	264
女性					
震災で失業	2	2.2	89	97.8	91
関係なく退職	2	4.9	39	95.1	41
変化なし	6	1.2	499	98.8	505

BDEPQ 点数

表 63 - 1 家屋損壊の有無との関連

	BDEPQ				合計
	23 点未満		23 点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
損壊あり	543	98.2	10	1.8	553
損壊なし	228	98.3	4	1.7	232
女性					
損壊あり	665	95.6	31	4.5	696
損壊なし	272	97.5	7	2.5	279

表 63 - 2 住居との関連

	BDEPQ				合計
	23 点未満		23 点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災前と同じ	371	98.2	7	1.9	378
仮設住宅	390	98.2	7	1.8	397
女性					
震災前と同じ	469	97.7	11	2.3	480
仮設住宅	457	94.6	26	5.4	483

男性 ; $\chi^2 = 0.0$, $p = 0.9262$ 、女性 ; $\chi^2 = 6.2$, $p = 0.0126$

表 63 - 3 家族・親戚の犠牲者の有無

	BDEPQ				合計
	23点未満		23点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
犠牲者あり	215	97.3	6	2.7	221
犠牲者なし	556	98.6	8	1.4	564
女性					
犠牲者あり	287	95.7	13	4.3	300
犠牲者なし	650	96.3	25	3.7	675

表 63 - 3 仕事の変化

	BDEPQ				合計
	23点未満		23点以上		
	実数	%	実数	%	
男性					
震災で失業	52	98.1	1	1.9	53
関係なく退職	55	100.0	0	0	55
変化なし	219	94.8	12	5.2	231
女性					
震災で失業	69	95.8	3	4.2	72
関係なく退職	35	100.0	0	0	35
変化なし	408	94.7	23	5.3	431

表 64 内陸部の対象者選択の有無による比較（背景情報）

	初回調査のみの対象者		初回・再調査の対象者		有意差検定 p 値	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
人数	208	280	218	266		
年齢（2012 年）	56.9 ± 17.2	54.9 ± 16.7	56.9 ± 17.2	56.1 ± 18.9	0.95	0.42
婚姻状況（2012 年）						
同居・内縁	75.0%	68.2%	74.8%	54.5%		
死別	4.3%	11.4%	3.2%	20.3%		
別居・離婚	3.4%	6.1%	4.6%	8.7%	0.90	0.01
未婚	16.8%	13.6%	16.5%	16.2%		
不明	0.5%	0.7%	0.9%	0.4%		
教育歴（年数）	12.7 ± 3.1	12.5 ± 2.3	13.1 ± 3.0	12.1 ± 2.6	0.13	0.06
同居者数 （本人を含めた人数）	3.3 ± 1.8	3.6 ± 1.7	3.4 ± 1.8	3.2 ± 1.8	0.88	0.03
年収						
100 万未満	6.3%	30.0%	6.9%	34.2%		
100 万以上 200 万未満	21.6%	23.9%	23.9%	25.6%		
200 万以上 300 万未満	23.6%	12.1%	17.9%	10.9%		
300 万以上 400 万未満	10.1%	4.6%	14.2%	7.5%		
400 万以上 800 万未満	19.7%	4.3%	23.4%	4.1%	0.53	0.44
800 万以上	3.9%	1.1%	3.7%	0.8%		
無収入	5.8%	18.9%	4.1%	12.4%		
不明	9.1%	5.0%	6.0%	4.5%		
仕事の有無						
あり	65.4%	52.0%	65.3%	52.1%		
学生	0.5%	1.1%	2.3%	0.4%	0.28	0.56
主婦	0.0%	30.1%	0.0%	27.4%		
無職	34.2%	16.9%	32.4%	20.2%		

表 65 内陸部の対象者選択の有無による比較（飲酒関連行動）

	初回調査のみの対象者		初回・再調査の対象者		有意差検定 p 値	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
人数	208	280	218	266		
飲酒頻度（2012年）						
毎日	30.0%	10.4%	30.3%	6.0%		
5-6/週	4.8%	3.2%	5.5%	4.9%		
3-4/週	7.7%	6.1%	11.5%	5.3%		
1-2/週	11.6%	10.4%	10.6%	6.0%	0.62	0.10
1-3/月	11.1%	8.6%	14.2%	13.2%		
1-11/年	8.7%	15.4%	8.3%	14.3%		
過去1年飲酒なし	26.1%	45.9%	19.7%	50.4%		
1回あたり飲酒量						
0g	35.0%	61.3%	28.0%	64.9%		
20g未満	18.0%	19.7%	18.8%	15.9%		
20g以上40g未満	26.7%	14.0%	22.0%	10.6%	0.08	0.06
40g以上60g未満	11.7%	3.9%	19.7%	3.4%		
60g以上100g未満	4.4%	0.7%	8.3%	3.8%		
100g以上	4.4%	0.4%	3.2%	1.5%		
寝酒の頻度						
1/週以上	11.7%	4.3%	11.2%	2.5%		
3/月以下	7.7%	7.7%	7.8%	6.6%	0.99	0.48
過去1年なし	80.6%	88.0%	81.0%	90.9%		
睡眠薬使用頻度						
なし	90.3%	89.2%	97.6%	88.8%		
年に1-11日	1.5%	2.2%	1.0%	3.6%		
月に1-3日	1.5%	2.6%	0.0%	0.8%	0.03	0.49
週に1-4日	1.0%	1.1%	0.0%	1.2%		
週に5日以上	5.6%	4.9%	1.5%	5.6%		

表 66 初回調査のみの回答者と初回・再調査回答者の比較（背景情報）

	初回調査のみ回答						初回・再調査とも回答						有意差検定 p 値	
	男性		女性		合計		男性		女性		合計		男性	女性
人数	473		575		1048		389		541		930			
年齢（2012 年）	57.9	±	55.5	±	56.5	±	61.0	±	60.0	±	60.4	±	0.00	0.00
	17.1		18.0		17.6		15.3		16.5		16.0			
婚姻状況（2012 年）														
同居・内縁	64.3%		58.3%		61.0%		65.8%		50.5%		56.9%			
死別	7.4%		18.4%		13.5%		6.4%		27.2%		18.5%			
別居・離婚	7.6%		9.9%		8.9%		10.0%		10.9%		10.5%		0.52	0.01
未婚	19.7%		12.9%		15.9%		17.2%		10.9%		13.6%			
不明	1.1%		0.5%		0.8%		0.5%		0.6%		0.5%			
教育歴（年数）														
同居者数	12.1 ± 3.0		11.8 ± 2.6		12.1 ± 2.6		11.8 ± 2.6		11.3 ± 2.3		11.5 ± 2.4		0.18	0.00
（本人を含めた人数）	2.8 ± 1.5		3.1 ± 1.6		3.0 ± 1.6		2.7 ± 1.7		2.7 ± 1.6		2.7 ± 1.6		0.53	0.00
年収														
100 万未満	12.9%		33.9%		24.4%		13.9%		41.6%		30.0%			
100 万以上 200 万未満	25.4%		23.7%		24.4%		29.1%		24.6%		26.5%			
200 万以上 300 万未満	23.0%		9.7%		15.7%		19.8%		8.0%		12.9%			
300 万以上 400 万未満	9.7%		4.9%		7.1%		11.3%		3.1%		6.6%			
400 万以上 800 万未満	14.4%		3.0%		8.1%		14.1%		2.0%		7.1%		0.39	0.05
800 万以上	2.3%		0.5%		1.3%		1.3%		0.4%		0.8%			
無収入	5.1%		19.1%		12.8%		6.2%		13.9%		10.7%			
不明	7.2%		5.2%		6.1%		4.4%		6.5%		5.6%			
仕事の有無														
あり	58.9%		44.5%		51.0%		48.6%		35.3%		40.9%			
学生	1.5%		0.9%		1.2%		0.0%		0.0%		0.0%		0.00	0.00
主婦	0.0%		31.4%		17.3%		0.0%		32.9%		19.1%			
無職	39.6%		23.2%		30.6%		51.4%		31.8%		40.0%			

表 67 初回調査のみの回答者と初回・再調査回答者の比較（飲酒関連行動）

	初回調査のみ回答			初回・再調査とも回答			有意差検定 p 値	
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
人数	473	575	1048	389	541	930		
飲酒頻度（2012年）								
毎日	32.2%	8.0%	18.9%	32.4%	5.9%	17.0%		
5-6/週	4.2%	3.0%	3.5%	5.4%	1.5%	3.1%		
3-4/週	8.7%	5.1%	6.7%	8.7%	4.3%	6.1%		
1-2/週	8.7%	7.8%	8.2%	5.7%	4.8%	5.2%	0.75	0.03
1-3/月	10.0%	9.1%	9.5%	10.0%	8.5%	9.1%		
1-11/年	8.9%	14.5%	12.0%	9.5%	12.9%	11.5%		
過去1年飲酒なし	27.3%	52.6%	41.2%	28.3%	62.1%	48.0%		
1回あたり飲酒量								
0g	36.3%	67.1%	53.2%	37.8%	75.2%	59.5%		
20g未満	16.1%	14.8%	15.4%	13.4%	11.9%	12.5%		
20g以上40g未満	22.7%	11.5%	16.6%	21.3%	8.0%	13.6%	0.36	0.05
40g以上60g未満	13.0%	3.7%	7.9%	17.0%	2.6%	8.6%		
60g以上100g未満	7.6%	2.3%	4.7%	8.0%	1.3%	4.1%		
100g以上	4.3%	0.7%	2.3%	2.6%	1.1%	1.7%		
寝酒の頻度								
1/週以上	12.1%	4.8%	8.1%	12.4%	3.6%	7.4%		
3/月以下	8.6%	7.4%	7.9%	6.4%	5.6%	5.9%	0.51	0.32
過去1年なし	79.3%	87.8%	84.0%	81.2%	90.9%	86.7%		
睡眠薬使用頻度								
なし	91.7%	86.3%	88.7%	92.5%	84.1%	87.6%		
年に1-11日	1.6%	2.4%	2.1%	1.9%	3.5%	2.8%		
月に1-3日	1.2%	3.0%	2.2%	0.5%	1.4%	1.0%	0.53	0.07
週に1-4日	1.2%	0.9%	1.0%	0.3%	2.6%	1.6%		
週に5日以上	4.4%	7.4%	6.1%	4.8%	8.4%	6.9%		

表 68 初回調査のみの回答者と初回・再調査回答者の比較 (DSM-IV 診断項目該当の有無 (2012 年))

	初回調査のみ回答			初回・再調査とも回答			有意差検定 p 値	
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
人数	473	575	1048	389	541	930		
アルコール依存								
該当あり	3.8%	0.7%	2.1%	2.8%	0.4%	1.4%	0.46	0.69
該当なし	96.2%	99.3%	97.9%	97.2%	99.6%	98.6%		
アルコール乱用								
該当あり	0.6%	0.5%	0.6%	1.8%	0.0%	0.8%	0.20	0.25
該当なし	99.4%	99.5%	99.4%	98.2%	100.0%	99.3%		
アルコール使用障害								
該当あり	4.4%	1.2%	2.7%	4.6%	0.4%	2.2%	1.00	0.18
該当なし	95.6%	98.8%	97.3%	95.4%	99.6%	97.9%		

表 69 初回および再調査時の飲酒行動に関する沿岸部・内陸部の比較（再調査回答者のみ）

	初回調査				再調査				初回調査		再調査	
	内陸		沿岸		内陸		沿岸		検定 p 値		検定 p 値	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
人数	157	196	232	345	157	196	232	345	沿岸 vs 内陸		沿岸 vs 内陸	
飲酒頻度	%	%	%	%	%	%	%	%				
毎日	31.9	6.1	32.8	5.8	31.9	9.2	30.2	5.8				
5-6/週	7.0	3.1	4.3	0.6	8.9	1.0	2.6	0.6				
3-4/週	11.5	5.6	6.9	3.5	11.5	6.6	7.8	2.3				
1-2/週	8.9	6.1	3.5	4.1	7.0	7.1	6.9	5.2	0.001	0.000	0.003	0.000
1-3/月	14.7	13.8	6.9	5.5	12.1	14.3	6.9	7.8				
1-11/年	7.6	14.8	10.8	11.9	7.6	14.3	7.8	7.5				
過去1年なし	18.5	50.5	34.9	68.7	21.0	47.5	37.9	70.7				
1回あたり飲酒量												
0g	26.1	65.6	45.7	80.6	29.0	62.4	45.7	79.0				
20g未満	17.8	18.5	10.3	8.1	21.9	21.7	17.2	11.4				
20g以上40g未満	24.2	9.2	19.4	7.3	21.9	13.4	18.5	2.3	0.003	0.002	0.029	0.000
40g以上60g未満	21.7	3.1	13.8	2.3	18.7	0.5	10.8	1.8				
60g以上100g未満	7.6	2.6	8.2	0.6	6.5	1.6	6.0	2.1				
100g以上	2.6	1.0	2.6	1.2	1.9	0.5	1.7	0.6				
寝酒の頻度												
週1日以上	10.5	1.7	14.0	4.8	6.6	2.7	8.4	3.7				
月3日以下	6.5	5.6	6.2	5.6	6.6	4.3	5.5	4.4	0.613	0.217	0.753	0.829
過去1年なし	83.0	92.7	79.8	89.6	86.8	98.0	86.1	91.9				
睡眠剤使用頻度												
なし	96.7	88.3	89.5	81.7	94.7	83.4	89.0	78.4				
1-11/年	1.3	3.7	2.3	3.4	1.3	2.7	1.4	3.3				
1-3/月	0.0	1.1	0.9	1.6	0.0	1.6	0.0	1.2	0.111	0.216	0.014	0.160
1-4/週	0.0	1.1	0.5	3.4	2.6	5.9	0.9	4.0				
5日/週以上	2.0	5.9	6.9	9.9	1.3	6.4	8.7	13.1				

表 70 飲酒頻度・量の変化の比較

	男性		女性		検定 p 値 (沿岸 vs 内陸)	
	内陸部	沿岸部	内陸部	沿岸部	男性	女性
人数	157	232	196	345		
飲酒頻度の変化						
減少	21.0	19.4	14.8	13.3		
増加	15.9	10.3	13.3	8.4	0.206	0.153
変化なし	63.1	70.3	71.9	78.3		
2012 年の非飲酒者を除く						
人数	128	151	97	108		
飲酒頻度の変化						
減少	25.8	29.8	29.9	42.6		
増加	15.6	9.3	14.4	9.3	0.252	0.137
変化なし	58.6	60.9	55.7	48.2		
飲酒なしを除く						
人数	157	232	196	345		
飲酒量の変化						
飲酒なし	21.3	38.4	57.0	74.0		
減少	29.7	26.3	13.5	8.8		
増加	20.7	18.1	14.0	10.2	0.002	0.000
変化なし	28.4	17.2	15.5	7.0		
飲酒なしを除く						
飲酒量の変化						
減少	37.7	42.7	31.3	33.7		
増加	26.2	29.4	32.5	39.3	0.369	0.411
変化なし	36.1	28.0	36.1	27.0		

表 71 アルコール依存症、アルコール乱用の有病率の比較

	初回調査				再調査				初回調査		再調査	
	内陸		沿岸		内陸		沿岸		検定 p 値		検定 p 値	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
人数	157	196	232	345	157	196	232	345	沿岸 vs 内陸		沿岸 vs 内陸	
	%	%	%	%	%	%	%	%				
アルコール依存												
該当あり	3.2	0.5	2.6	0.3	2.6	0	3.5	0.3	0.727	0.685	0.614	0.451
該当なし	96.8	99.5	97.4	99.7	97.5	100	96.6	99.7				
アルコール乱用												
該当あり	1.9	0	1.7	0	0.6	0.5	1.7	0	1.000	-	0.652	0.362
該当なし	98.1	100	98.3	100	99.4	99.5	98.3	100				
アルコール使用障害												
該当あり	5.1	0.5	4.3	0.3	3.2	0.5	5.2	0.3	0.807	1.000	0.452	1.000
該当なし	94.9	99.5	95.7	99.7	96.8	99.5	94.8	99.7				

表 72 アルコール使用障害と背景情報の相関（男性のみ）

	初回調査（2012年）		再調査（2014年）		有意差検定 p 値	
	使用障害	非使用障害	使用障害	非使用障害	2012年	2014年
人数	18	371	17	372		
年齢（調査時）	58.4 ± 10.2	61.1 ± 15.5	55.7 ± 9.6	63.3 ± 15.3	0.306	0.006
婚姻状況（2012年）	%	%	%	%		
同居・内縁	50.0	66.6	52.9	66.4		
死別	5.6	6.5	0.0	6.7		
別居・離婚	16.7	9.7	17.7	9.7	0.577	0.374
未婚	27.8	16.7	29.4	16.7		
不明	0	0.5	0.0	0.5		
教育歴（年数）	11.4 ± 1.9	11.9 ± 2.7	12.3 ± 2.2	11.8 ± 2.7	0.526	0.462
同居者数 （本人を含めた人数）	2.2 ± 1.6	2.8 ± 1.7	2.4 ± 1.8	2.8 ± 1.7	0.144	0.339
同居者の有無	%	%	%	%		
単身	44.4	19.4	47.1	20.4		
同居者あり	55.6	80.6	52.9	79.6	0.017	0.015
年収	%	%	%	%		
100万未満	5.6	14.3	11.8	14.0		
100万以上 200万未満	33.3	28.8	11.8	29.8		
200万以上 300万未満	5.6	20.5	17.7	19.9		
300万以上 400万未満	11.1	11.3	5.9	11.6		
400万以上 800万未満	22.2	13.8	29.4	13.4	0.375	0.079
800万以上	0.0	1.4	0.0	1.3		
無収入	16.7	5.7	5.9	6.2		
不明	5.6	4.3	17.7	3.8		
仕事の有無	%	%	%	%		
あり	38.9	49.1	58.8	48.1	0.473	0.461
無職	61.1	51.0	41.2	51.9		

表 73 アルコール使用障害と震災関連要因

	初回調査 (2012 年)		再調査 (2014 年)		有意差検定 p 値	
	使用障害	非使用障害	使用障害	非使用障害	2012 年	2014 年
仕事への影響	%	%	%	%		
人数	11	524	5	521		
震災で失業	27.3	17.8	20.0	14.0		
関係なく退職	18.2	10.1	0	16.1	0.429	0.605
変化なし	54.6	72.1	80.0	69.9		
調査時の住居	%	%	%	%		
人数	20	905	19	897		
震災前と同じ	40.0	37.1	31.6	40.1		
仮設住宅	60.0	62.9	68.4	59.9	0.818	0.490
家族・親戚の死亡	%	%	%	%		
人数	20	910	19	911		
あり	30.0	36.5	42.1	36.2		
なし	70.0	63.5	57.9	63.8	0.644	0.634

表 74 アルコール使用障害と飲酒行動

	初回調査				再調査				初回調査		再調査	
	使用障害		非使用障害		使用障害		非使用障害		検定 p 値		検定 p 値	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
人数	18	2	371	539	17	2	371	539	使用障害 vs 非 使用障害		使用障害 vs 非使 用障害	
	%	%	%	%	%	%	%	%				
飲酒頻度												
5/週～毎日	61.1	50.0	36.7	7.2	58.8	100.0	34.8	7.4				
1-4/週	22.2	50.0	14.0	8.9	35.3	0	15.4	9.8	0.054	0.016	0.004	0.000
1/週未満	11.1	0	20.0	21.5	5.9	0	17.3	20.2				
過去1年なし	5.6	0	29.4	62.3	0	0	32.6	62.5				
飲酒量												
0g	5.6	0	39.4	75.5	0	0	40.8	73.2				
20g 未満	0	0	14.0	11.9	11.8	0	19.5	15.2				
20g 以上 40g 未満	27.8	50.0	21.0	7.8	17.7	50.0	20.0	8.1	0.000	0.000	0.000	0.000
40g 以上 60g 未満	11.1	0	17.3	2.6	35.3	0	13.0	1.3				
60g 以上 100g 未満	27.8	50.0	7.0	1.1	17.7	0	5.7	1.9				
100g 以上	27.8	0	1.4	1.1	17.1	50.0	1.1	0.4				

表 75 アルコール使用障害の経過と発生率の比較

アルコール使用障害の経過	内陸部	沿岸部	検定 p 値
人数	353	577	
回復	6 (1.7)	5 (0.9)	0.65
未回復	3 (0.9)	6 (1.0)	
発生	3 (0.9)	7 (1.2)	
非該当	341 (96.6)	559 (96.9)	

表 76 アルコール使用障害の経過と背景情報

人数	回復	未回復	発生	非該当	検定 p 値
	11	9	10	900	
年齢 (2014 年)	63.5 ± 10.9	55.9 ± 7.7	53.3 ± 11.7	62.6 ± 16.1	0.179
婚姻状況 (2012 年)	%	%	%	%	
同居・内縁	63.6	33.3	70.0	56.9	
死別	9.1	0.0	0.0	19.0	
別居・離婚	9.1	22.2	10.0	10.4	0.317
未婚	18.2	44.4	20.0	13.1	
不明	0.0	0.0	0.0	0.6	
教育歴 (年数)	11.3 ± 1.6	11.7 ± 2.1	13.1 ± 2.3	11.5 ± 2.5	0.220
同居者の有無	%	%	%	%	
単身	40.0	62.5	33.3	19.9	
同居者あり	60.0	37.5	66.7	80.1	0.010
年収	%	%	%	%	
100 万未満	0.0	11.1	10.0	30.8	
100 万以上 200 万未満	45.5	33.3	0.0	26.4	
200 万以上 300 万未満	9.1	0.0	30.0	12.9	
300 万以上 400 万未満	18.2	0.0	20.0	6.3	
400 万以上 800 万未満	9.1	33.3	20.0	6.7	0.015
800 万以上	0.0	0.0	0.0	0.8	
無収入	18.2	11.1	0.0	10.7	
不明	0.0	11.1	20.0	5.4	
仕事の有無	%	%	%	%	
あり	36.4	55.6	70.0	40.5	
主婦	0.0	0.0	0.0	19.8	0.108
無職	63.6	44.4	30.0	39.8	

表 77 使用障害の経過と飲酒行動

人数	回復	未回復	発生	非該当	検定 p 値
飲酒頻度	%	%	%	%	
毎日	63.6	77.8	40.0	15.6	
5-6/週	0	0	10.0	2.6	
3-4/週	9.1	22.2	30.0	5.7	
1-2/週	9.1	0	10.0	6.3	0.000
1-3/月	0	0	10.0	9.9	
1-11/年	9.1	0	0	9.2	
1年間なし	9.1	0	0	50.8	
1日あたりの飲酒量	%	%	%	%	
0g	18.2	0	0	60.5	
20g未満	27.3	0	20.0	16.8	
20g以上40g未満	18.2	11.1	30.0	12.9	0.000
40g以上60g未満	36.4	44.4	20.0	5.7	
60g以上100g未満	0	11.1	20.0	3.5	
100g以上	0	33.3	10.0	0.7	
飲酒頻度の変化					
減少	18.2	11.1	10.0	16.6	
増加	27.3	44.4	10.0	10.7	0.034
変化なし	54.6	44.4	80.0	72.8	
飲酒量の変化	%	%	%	%	
飲酒なし	0	0	0	54.4	
減少	54.6	55.6	50.0	16.5	0.000
増加	27.3	33.3	50.0	14.0	
変化なし	18.2	11.1	0	15.1	

表 78 使用障害の経過と震災関連要因

	回復	未回復	発生	非該当	検定 p 値
仕事への影響	%	%	%	%	
人数	5	3	2	516	
震災で失業	20.0	0	50.0	14.0	
関係なく退職	0	0	0	16.3	0.597
変化なし	80.0	100	50.0	69.8	
調査時の住居	%	%	%	%	
人数	11	9	10	886	
震災前と同じ	54.6	33.3	30.0	40.0	0.670
仮設住宅	45.5	66.7	70.0	60.1	
家族・親戚の死亡	%	%	%	%	
人数	11	9	10	900	
あり	27.3	33.3	50.0	36.3	
なし	72.7	66.7	50.0	63.7	0.745

